(第三種郵便物認可)

滿洲日報

發行人 鈴木[illegible] 編輯人 橋本[illegible] 印刷人 木村武盛 發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢

廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

聲明書の發表に關し維持委員會内に兩論

政權代行問題に暗礁

地方維持委員會では六日午後省政府の職權代行の聲明書發表に決定して居たがはしなくも維持委員會内部に於て代行の文字に關し積極消極の兩論生じ四時に至るも決定せず七日發表に延期されるものゝ如く思はれる代行問題に關する積極派の主張は

事こゝに到る以上寧ろ百尺竿頭一歩を進めて獨立政府を組織すべきである中央政府並に張學良氏の政權を認めざる今日代行**を委任する機關なく**地方維持委員會自ら省政府事務を代行すると云ふは法理上意義薄弱なるのみならず管下各機關並びに人民の統制力不充分である又對外的にも法理的意義なくこの際寧ろ獨立政府を組織するに如かず而もすでに**獨立政府なる以上中央が認めると否とは關知するところにあらず**獨立獨行の權力を以て何等介意するところなく政治を行ふべしと云ふにあり、これに對し消極派の主張は

地方維持委員會は成立當初より地方治安維持に當るべく組織されたるもので最早今日に於ては**すでにその仕事は終了し**見方に依つては財政實業兩廳の復活も地方維持委員會と**しては餘計な仕事と言つてよい位だ**然しこの過渡期をこのまゝに放任することは責任を全うする所以でないから**暫定的に省政權を代行しようと云ふので充分である**と思はれる從つて萬事このまゝに進めばよいと云ふにある【奉天電話】

我軍死傷者百二三十名

大興附近戰闘の被害

混成第三旅團の死傷者は百二三十名その内譯は四日の死傷者二三十名、五日負傷將校五名下士以下七十名内外、六日追擊前迄の死傷二三十名で敵は多數の死傷者を出してゐる模樣である【奉天電話】

數千名の黑龍江軍東北方に向て潰走

大興方面其後の戰況

大興方面におけるその後の戰鬪につき混成第三旅團長長谷部少將よりの報告によれば、我軍は逐次到着せる增援隊の戰鬪力により一擧に戰況を挽回した元來敵は衆を頼み襲撃してゐたので六日午前十時頃北方及び東北方に退却を開始し午前十時半頃その後備部隊は大興を北に去る一里半の湯池附近を通過してゐた我が飛行隊は退却の敵を爆撃したがさなくとも統制の無い潰亂狀態にある數千の黑龍江軍は行軍狀態を作る能はざるまでに大損害を受けた、なほ黑龍江の馬占山は我軍に對し偽瞞し挑戰せんとせる事は明瞭なる事實でこの意味で彼等は對日宣戰をなした巨頭である彼等はハルビンの張景惠を通じ妥協を申込んだと傳へられてゐるがかゝる事は全然あり得ることでなくもしあつたとすれば支那側で數千年來使はる緩兵戰法により我が軍を欺瞞するものであり支那側でこの處置に出るなら我軍では速兵戰法に出ると【奉天電話】

ロシヤ側畫策

ロシヤは支那軍の退却に關し日支何れの軍を問はず萬一東支線を破壞し又は占領する事あらばロシヤは直に出兵して東支全線を確實に獲得せんとほのめかしてゐるがまたロシヤはその裏面において退却中の黑龍江軍をして故意に東支線を破壞せしめこれをきつかけに出兵して東支全線の占領を畫策中とも傳へられてゐる【奉天電話】

日支問題討議の國際聯盟理事會

去る十月十三日全世界注視の裡に開かれたる國際聯盟理事會當日の光景、寫眞は向つて楕圓形の議席の左から施肇基(支)マトス(グアテマラ)コルバン(ノールウエー)フオテイシユ(ユーゴースラビヤ)ポンマテイヤス(獨)グランデイ(伊太利)ブリアン(佛)マダリアガ(スペイン)ドラモンド氏リーデイング(英)芳澤大使(日本)ソカル(ポーランド)パレツ(ペルー)レスター(アイルランド)ガレイ(パナマ)中央後部杉村陽太郎、杉村氏より右へ四人目セシル卿

張景惠氏最後手段

勸告を容れねば討伐

【ハルビン特電六日發】張景惠氏はチ、ハルを兵火の巷より救ふべく五日來東奔西走六日哈滿護路司令丁超氏をチ、ハルの馬占山の許に派遣下野を促し時局收拾の最後的勸告を試みた右により馬が如何なる態度を執るか注目されるが萬一馬占山がこれを肯じない場合北滿數十萬の難民を塗炭の苦みより救ふ爲め馬占山を討伐するの已むなきものと强硬意見を試みつゝある因に馬占山を除く全部は非戰論者である

露赤軍司令官

【モスコー五日發】目下當地滯在中のロシア赤軍司令官ブルーヘル將軍はなほ當地に滯在の筈で同將軍の行動は日支紛爭問題に關連して露支接近の傳へらるゝ折柄頗る注目されてゐる

學良氏賞讃電

【ハルビン六日發】本日北平に在る張學良氏より馬占山宛「三日來の貴軍の奮鬪を賞讃す」と打電して來た

支那軍の兵力

【ハルビン六日發】當地外國領事館側の發表によればハイラル方面の約二萬の支那兵は昂々溪に到着嫩江方面に向ひつゝある江橋方面の支那兵力は左の如し

歩兵 一五〇〇　砲兵 三〇〇
工兵 二〇〇　山砲 八門
野砲 八門　迫撃砲 十六門
機關銃三十六挺

外國記者視察

【ハルビン六日發】七日朝英米各國記者團はチ、ハル視察に向ふ筈

多門中將出發

第二師團司令部、多門中將は午後二時臨時列車で洮昂線へ向つた【長春電話】

支那側の逆宣傳に關東軍眞相を發表

捏造と誤傳を反駁

去る四日支那側代表施肇基氏は國際聯盟に對し滿洲に於ける日本軍の行動に關し覺書を提出したが右は各公所の誤傳または捏造に係る支那一流の逆宣傳であるから關東軍司令部では右に就き六日左の如く眞相を發表した

一、營口鹽稅收入は從來奉天政府收入の重要部分を占めてゐるを以つて奉天の支那側政府がその施政上從來の例に倣ひこれを奉天に送附せしむるは當然なり、この機會に北平または南京に送る如く變更せしめんとすることは甚だ不合理なり、右の趣旨に基き事件以來南京及び張學良系の策動に對し關東軍としては外國借款、擔保等從來南京に送附しありし額以外のものが滿洲以外に不合理に流出することに關し注意しつゝあるも最近既に奉天に支那側收稅機關が設置せられその機關に於て從來と全然同一の方法により鹽稅收納を開始するに至れるものにしてこの間日本軍は何ら干渉しをらず

二、日本軍は奉天稅關を占領せる事實なし

三、牛莊海關の鹽稅收入六十七萬元は在奉天支那側財政廳の收納せるものにして日本軍は何ら關係しをらず

四、瀋海線は支那側に於て經營せるものにしてその總ての行動は支那側がなしたるものにして日本軍として關係なし

五、蒙古人による通遼攻撃は日本側にあらずして寧ろ支那側が計畫したるものなり、現に我が借款鐵道はこれがため屢次破壞せられたるを以て明白なり

六、日本が錦州攻撃のため支那獨立軍に武器供給せる事實なし【奉天電話】

衝突の眞相を暴露

陸軍首腦會議で決定

【東京六日發】陸軍當局は六日午前八時から白川大將を交へ最高首腦部會議を開き南陸相、金谷參謀總長以下出席先づ白川大將より約二時間に亘る關東軍並に滿洲の情勢を聽取した後今後の方針

一、朝鮮出動部隊歸還に交替兵派遣の件

を既報の如く確定しこれに伴ふ豫算と共に七日の閣議の提案協議決定をなし大演習地に於て金谷總長より御裁可を仰ぎ發令する事の手配を定めた次で嫩江に於ける日支軍衝突につき今後の態度協議の結果左の如く意見一致を見た

一、馬占山軍との衝突は五日一般に公表せる通り馬軍が誓約を裏切り我軍を瞞討した爲め起つた戰鬪であるから國際聯盟其の他に對し何等憚る必要なきのみならず進んで此の間の眞相を暴露すべきである

二、軍事行動は素より欲せざる處であるが馬軍が斯る態度に出る以上完全に鐵道橋の修理を終り且つ安全に同鐵道の運行を見るまで關東軍が適當の措置に出る事は已むを得ざる處である

尚本日午後一時大演習西下の金谷總長は南陸相と同行西下する事として一兩日延期する事となり午後零時散會した

決戰的衝突と解し聯盟關係者の驚愕

【ジユネーヴ五日發】江橋鐵橋附近で起つた日支衝突に關し國際聯盟筋に入つた情報は右を決戰的正面衝突と解して驚愕し來つてゐるので聯盟關係者の驚愕は非常なものでこれ迄の衝突が何れも小競合であるに對し今回の衝突は大部隊が十分の用意を整へて行はれたものと解し國際聯盟は聯盟の歴史上空前の戰鬪の事實に會してゐると緊張重視してゐる、而して支那側は目下聯盟規約第十一條(戰爭の脅威ある時の規定)に基いて聯盟理事會への行動を續けてゐるのであるが今やもつと突き込んだラヂカルな手段を必要とするに至るであらうとは聯盟各方面の認めてゐる處である

日支兩國の通牒

聯盟事務總長に手交

【東京特電六日發】ジユネーヴ五日發電、支那代表施肇基氏は本日午後事務總長ドラモンド氏を訪問し嫩江における日支衝突につき左の如き通牒を手交した

余は南京政府より接受せる電報に依ると日本軍は嫩江鐵橋附近で盛んに軍事的衝突を挑發し十一月四日支那服を着けた日本兵が馬賊と共に支那軍警を射撃した一方二臺の日本飛行機は爆彈を投下し二十名以上の支那人を殺し更に十一月五日に至り日本軍六百名は嫩江を渡り支那軍を攻撃し百名以上を殺した、依つて余は貴下が直に議長ブリアン氏に通告し日本軍にこれ等挑戰的行爲を停止せしむる爲め日本政府に干渉する樣ブリアン議長に要請されん事を要求する

一方日本代表もドラモンド事務總長に對し嫩江鐵橋の修理に關する日支間の紛爭に就き詳細な情報を提出した其の大要左の如し

嫩江鐵橋は約二週間前張海鵬と馬占山軍との敵對行爲で爆破されたが同地方の日支兩國民間系鐵道會社は大影響を受け日本は支那當局に鐵道修理を要求し日本人顧問は支那側代表と共に現場に赴いたが馬占山軍に大砲機關銃で射撃された依つて洮昂鐵道局は日本軍援助のもとに鐵道を修理することゝなつた日本軍は敵對兩支那軍の間にて最も嚴正中立的なものだが萬一これを阻止せんとするものがあれば防禦を講ずるもので修理完成せば直ちに撤退する

米政府の勸告書手交

『愼重なる考慮を以て事態を收拾されたい』

【東京六日發】アメリカ大使フォーブス氏は本國政府の訓電に基き五日夕幣原外相を訪ひ滿洲事變の收拾に關するアメリカ政府の勸告書を手交した、右勸告の内容は秘密に附されてゐるが極めて友誼的のもので大體左の如き趣旨のものと信ぜられる

アメリカ政府は日本政府が九月三十日の國際聯盟理事會の決議に基き滿洲に於ける事態の收拾に關し誠意を以て事に處してゐる事を信ずるものであるが日本軍の撤退問題其の他に就ても今後とも愼重なる考慮を拂ひ可及的速かに事態の收拾を希望して止まない

ブ議長に回答

外務省で脱稿

【東京六日發】帝國政府は聯盟理事會議長ブリアン氏の十月二十六日附帝國政府聲明に對する回答に對し重ねて政府所信を披瀝せる回答書を發することに決定、右回答書は六日幣原外相の手許に於て脱稿したので直に若槻首相、南陸相等の諒解を求めた上同日午後芳澤大使に訓電し同聲明は七日外務省より發表さるることに決した

米政府は靜觀

米消息通の觀察

【ワシントン五日發】日支衝突に關しアメリカの消息通は左の如く觀察してゐる

嫩江で兩軍が衝突したからと云つて日支紛爭問題は何等變化するものでない、日支紛爭の核心は日本が支那に對し一千九百十五年の二十一ケ條に依つて獲得した經濟的既得權の確認を求める、支那がこれに反對してゐるにある、然し這は非常にデリケートな問題で他國が容易に手を出せるものでない、アメリカ政府としては飽くまで靜觀主義を持續せねばならぬ

奉天に黑龍江軍の便衣隊

五日午後六時二十分頃奉天城内大西關九鬼洋行前を通行中の怪支人二名をみとめたわが下士哨兵は直に逮捕取調たところ右は黑龍江より來る商人なりと稱するもきびしく取調の結果意外にも馬占山部下將校にして便衣隊操縱の目的を以て奉天に潛入せしものなること判明し目下憲兵隊において嚴重取調べを續けてゐる、尚一名は黑龍江歩兵第十三團長一名はその副官なることを自白した

黑軍の連長

既報我が軍のため逮捕された敵の便衣隊は取調べの結果黑龍江軍十三連長呂之信と副官崔玉東であつた【奉天電話】

應援警官急派

關東廳警務局においては時局の推移による奥地沿線治安維持の萬全を計る意味において州内警察官をして交替、奥地沿線に派遣應援せしめてゐるが、更に七日應援の意味で州内各署より六十名を選拔十沿線各地に配備する事となつた尚大連四署よりは十名選拔された由である

東北接收委員

任命事情

【北平六日發】張學良は現在東北の各新政權の首腦者が概ね舊東北政權内の舊派に屬し曾てこれ等の人物を壓迫したこともあるのでこれ等新政權首腦者には相當氣兼して居る模樣で過般任命した所謂東北被占領地接收委員に張作相、湯爾和等の比較的新政權と親密な人物を選んだのは之が爲であると觀られまた一面接收の際南京派の勢力侵入を防ぎ全部自己の手に接收しやうといふ虫のよい考へを持つてゐると

内田總裁海軍首腦部招待

【東京六日發】内田滿鐵總裁は今夜安保海相、谷口軍令部長、小林中將等海軍首腦部を晩餐に招待し意見の交換を行つた

朝鮮部隊交替

【東京六日發】朝鮮部隊交替は南陸相提案決定の上直に金谷參謀總長參内上奏御裁可を仰いで即日發令を見る筈

第二の反抗 (74)

三宅やす子　阿部金剛畫

新生活(十四)

女の姿が見えなくなつてしまふと、急に佐枝子は、涙をぼろ／＼とこぼして居る彼女自身をそこに見た。

「これは一體何としたことだ」

子供をかまひつけないと云つたといふ赤ン坊の父親。

「悲しい女の運命でございます」

さう云つたあの女。

「一旦お金で手が切れた以上——お金は親子の緣まで切ることでござんした、旦那樣がおかへりになりましたら、どうぞ私のことを、ないしよにしておいて下さいませ」

うらむやうな、かこつやうな、あの女の聲。

それだけきいてしまつた以上、佐枝子は、

「ではもしや、其父といふのが、私のところの主人ではありませんか」

と訊くわけにはゆかないではないか、

何のゆかりもないところに、奧樣は懷深いの、今迄おうらみ申して居たのと、意味ありさうな言葉をならべに來る女もない筈だ。まして三十圓といふまとまつた金を出してくれるいはれのないところに、借りにくる筈もない、凡ては——それ以上の説明を求める方が、佐枝子の恥辱なのださ思つた。

ないしよにして、とあの女はくれぐ／＼も云つて歸つたが、これが夫に云はずに濟まされることだらうか。

考へて見れば、憐みを乞ひに來たあの女に、體よく侮辱されたことになるのではなからうか。

新妻の不安なおのゝきに、胸を轟かせて、思ひがけない申出にいはゞあさ／＼の考へもなく、金を渡してしまつたが、それはもしかして、大變な、惡い結果を來させるのではなかつたらうか。

それともあの女は、只のゆすりだつたらうか、まことしやかに金を取つてゆく、圖太い女だつたらうか。

老人に相談して見ればよかつたと佐枝子は、今になつて氣がついた、

獨りで取り計らはうと、うまくおさめたつもりの自分の所置はあんまり若い仕わざだつたらう

いろ／＼に迷つて見る、

でも——私の推測がまちがつて居てくれゝば、どんなに幸ひか。

佐枝子は、それが——彼女のあて推量が、間違ひであることを祈つた。

まさか、夫が、あの女の赤ン坊の父親だなんて——どうしても思ひたくはなかつた、

第一、どこの誰ともしれない女から、そんな云ひがゝりをつけられたとしても、何の證據もなく、自分のまるで知らない事を、承認するといはれはない筈だ

「のぼせてしまつたのかしら」

でも、でも。

彼女は、また泣けて來た。

「これが私の僥倖な新生活に、第一におさづれて來た出來事なのだらうか」

家庭

滿洲の樣な密閉家屋では迂潤に使へない炭火

―まかり違へば生命を落す― では、なぜ惡いのか

炭火は私共日本人にとつて誠に親みの深いものであります、ことに內地の冬を知る者にとつては、あの火鉢や炬燵をかこんでの團欒の樂しさは忘れられないでせう、炭火に對する日本人の愛着の強さは、この煖房裝置の完備した滿洲の家屋でさへ、なほ來客に

◇…**火鉢** をすゝめる家の少くないのでも證明されます、この他炊事用としても炭火は一般の家庭から容易に驅逐することの出來ぬ現狀にあるやうです。こゝで私共が深く注意しなければならないのは炭火の害です、炭火は非常な毒瓦斯を發生しますので場合によつては炭火中毒を起し甚しくすると命を失ふ場合があります、その瓦斯の主なるものは酸化炭素と炭酸瓦斯ですが、中でもおそろしいのは酸化炭素若くは一酸化炭素と呼ぶものです、炭酸瓦斯は一般に著るしい

◇…**毒性** をもつてゐるやうに考へられてゐるやうですが、炭酸瓦斯そのものは決して有毒なものではなくてその增加に伴つて空氣の性質が不良となる――即ち空氣がきたなくなるから有毒なだけで、實際に於ては空氣の三十パーセント以上に達した時はじめて中毒症狀を起すのです。ところが酸化炭素の方は直接に私共の血潮に猛烈な毒作用を及ぼすのですからその害は實に恐ろしいものがあります、その中毒症狀は酸化炭素の吸入量と吸入時間の長短によつて一定しませんが、通例先づ

◇…**頭痛** がしたり顏がほてつて逆上せたりします、次で全身の倦怠、耳鳴り、眩暈が起つたり、或は胸がわるく嘔氣を催したりして、更にすゝめば失神し、續いて假死の狀態に陷り、そのまゝ放置しますとやがて不歸の人になつてしまひます。ところが事實內地の日本家屋では炭火をカンカンおこしても大がい頭痛を催す程度で生命を失ふほどの中毒はごく稀です。これは日本家屋が至る所に隙間が多く

◇…**障子** も又よく空氣を通しますので假令室內で炭火をたいても發生する瓦斯はどしどし戶外へ逃げて室內にはそれほどに溜らないからです、ところがこの關係も知らずにこの滿洲冬季の洋式家屋の目張りまで施した隙間のない換氣の惡い屋內で炭火を用ふるならば、瓦斯は次第に室內に蓄積して中毒の危險あることは申すまでもありません、ですから私共は必要以外にはなるべく屋內で炭火を用ひぬやう、もし臺所などのやうに止むを得ず炭火を用ふる場所には室の上部に排氣孔を設け、窓もなるべくあけて炭火の使用時間を短時間にとゞめたいものです

◇…**煖房** が充分なのに拘らず習慣的に火鉢を用ふるなど以ての外で、これは是非やめて欲しいと思ひます、石炭や石油も酸化炭素を發生することは木炭に變りありませんから、此等を用ひる場合にも室內に有毒瓦斯のもれるやう注意が肝心です

ヨチヨチの幼兒は頭髮を伸す事

從來男の子の髮は大概バリカンの丸刈りときまつてゐました。運動のはげしい毛髮の不潔になり易い小中學生には短く刈つた方が衛生的でもありませう、しかし元來頭髮は皮膚を被ひ、これを保護する役目のものですから短く刈つてしまつては本來の意義を失ふことになります、ひどい寒さ暑さから頭腦を保護して精神の安易を保つのも毛髮であり、他の物にぶつつかつた時皮膚を被ふて保護するものも毛髮であるのです。若し頭に怪我をする場合髮の毛が長いのと短いのとでは怪我の程度も大變ちがひます。ですから未だ足許のあまり確でない、身體のわりに頭が大きくて安定のない、やはらかな皮膚をもつてゐる幼兒期の間はなるだけ毛髮を伸ばして置いた方が安全です。

なぜ肥るか

大食、早食、運動不足や內分泌の障害が原因

普通健康體の人では、心臟が全身の血管に一分間に血潮を送り出す量は二升三合ださうです、又一ポンド（百二十匁）の脂肪層に對し一千四百メートル即ち約十一町の血管があるとされてゐますから假に三貫六百匁餘分に肥つてゐるとしますと、その人の

心臟は 一分間每に二百里だけ餘分に血液を送らねばならぬことになります、これを以て見れば肥つてゐる人ほど心臟が餘計な負擔を負はされ從つて疲勞することになるのです、事實保險會社の統計によつて見ても肥滿者は普通の健康な人に比して病氣にかゝり易くしかも非常に短命で死亡率が高いことが立證されてゐます、即ち心臟病で死亡した人について見ますと普通の體格の人百九十七人に對して肥滿者三百八十七人、腦溢血の死亡者では普通者百十二人に對し

肥滿者 三百九十七人、腎臟病では百七十九人（普）對三百七十四人（肥）糖尿病では二十八人（普）に對し百二十六人（肥）といふ數を示してゐます、この他動脈硬化症なども肥滿者に多い病氣です、この肥る原因について學界の發表するところでは外的原因と內的原因とが擧げられてゐます外的原因の主なものは大食や早食や運動不足から來て居り、內的原因の多くは內分泌の障害に因るものださうです、別に大食や早食もせず運動も

適度に 行つてしかもなほ肥りすぎる人は大抵內的原因即ち內分泌の作用によるといふので內分泌線の作用は極めて微妙で一人前の女になれば太るとか、月經閉止期になれば肥るとか、不感症、不姙症、性欲減退者などが一般に太つた人に多いといふやうな事實もこの內分泌線の障害に因るものが多いといはれてゐます

甘納豆 拵へる時に鹽氣は禁物

▲材料 鶉豆又は小豆一升、砂糖百九十匁

豆一升に對し水二升を入れて御飯の鍋か又は鐵鍋で火力を弱くして氣長に水だきします、豆の中まで火が通つた時分を見計らつてその水を全部すて、次に水一合、砂糖百二十匁を入れて煮詰まるまで炊きます、水炊きの時にあまり煮すぎますと砂糖煮の時こはれてきたなくなります、煮詰つたら更に砂糖七十匁を入れてカラカラになるまで煮つめて火から下し、鍋の肌にそつて杓子を入れ靜かに上下にかへし乍ら冷します、賣つてゐる甘納豆を見ますと後から砂糖をまぶしたやうに見えますが、あれは冷めてから砂糖を吹き出したので後からつけたものではありません、甘納豆を拵へる時には絕對に鹽氣を用ふることは禁物です

髮のためには植物性の油を

髮油には水油と練油とがあり、水油にも練油にも共に澤山の種類がありますが、何れにしろ植物性の油でなければ髮のためによくありません、植物性の油はすぐ毛髮に吸收され營養となりますが、礦物性の油はいつまでもベタベタとして塵埃がつき易く髮が不潔になり若しそれが乾きますとギシギシして毛が硬くなつてしまひます。又酸味のある油もいけません、普通髮油として椿油やオレーフ油が最も良いとされてゐますがこれも混り物のあるのはよくありません。ひどいのになると植物性の油に石油をまぜたりしたのがありますがこんなのは嗅いでみれば大がいわかりますし、油を紙にひたして火をつけて見ますと石油の臭が鼻をつきますからすぐわかります、瓶に入つたのを見わけるには瓶を振つて見て泡が立ち、その泡が虹のやうな五色の光りのするものは礦物性の油の混入してゐる證據です

台所のメモ 鳥かけ御飯

▲材料（五人前）鳥肉五十匁乃至百匁、油大匙五杯、メリケン粉大匙一杯、スープ一合五勺、砂糖大匙一杯、御飯、鹽、胡椒、適宜

鳥は大切りの儘茹で後細かく刻んでフライ鍋に油をさかした中でいため鹽味をつけます、鳥を出した殘りの油へメリケン粉を入れてよくかき混ぜ、前に鳥を茹た汁を加へて煮立つまでかきまぜて漉します、御飯は御飯茶碗か太目の茶呑茶碗を水でぬらし中につめて西洋皿のまん中にぽんとあけます、前の汁に鳥を加へ砂糖、鹽、胡椒で調味して御飯の上にかけてパセリを飾つて供します、この御飯の中に前もつてグリーンピースや人參の茹で刻んだものを混ぜて置けば尙結構です

雷太郎物語（4）

まさもと作　河野久書

㊀百姓はやつと安心しましたが弱腰を見せてはならぬと思つて「いや、許すことはならぬ。おれを吃驚させやがつて、こら打殺してしまふぞ」立上つて鍬をふり上げました。

㊁小さい男は土べたに坐つて何度も何度も頭を地へたにすり付けるやうにしました。

㊂百姓は得意になつて、「なに、助けてくれつて、よし助けてもやらう。だがお前は空を飛ぶ程の力を持つてゐる奴だから、只ではおかぬぞ」

㊃「助けてさへ下されば何でもお禮をして上げます」百姓は何をしてもらはうかと頭をかしげて、いろいろ考へました。

童話 ドウナツさんさようなら（下）

原六兒

彩子さんはあの苦みから助かつて、いつ寢入つたとも知らず眠り込んで、目を覺ましたのは翌る日の夜明頃でした。ふうツと、體中の恐ろしい毒を一時に吐き出すやうな、長い息を吐きました、そしてお座敷を見廻しました。お父さんとお母さんとが兩方にお床を取つて、朝の冷たい空氣の中にぐつすり疲れて寢んでゐらつしやいました。

彩子さんは仰向になつて、自分のお腹をそツと壓さへてみましたが、何かしらチクチク痛いものが、お腹の隅に殘つてゐるやうな氣が致します。

「うむツ」

齒を喰ひしばつて臍に力を入れて元氣を出してみました。するとすつきりしたやうな氣持がしましたが、その儘また寢入つてしまひました。

その次に目を覺ましたのは、もう夕方近くでした。

お母さんは炊事場で夕御飯のお仕度をしてゐらつしやるのでせう、水槽に落ちる水道の音がかすかに聞えました。

枕元にはお姉さんが一人坐つて雜誌を見てゐましたが、氣が付いてお蒲團の中にお顏を近付けました。

「彩子さん、ごめんなさいネ。お姉さんがあんなドウナツなんかつくるからいけなかつたのよ。ごめんネ」

「いゝえ」

彩子さんは、小聲で言つて頷いてみせました。少し元氣が出たやうでした。頭をあげやうとしますとチクリ

お腹に痛いものが、まだ殘つてゐて苦めました。

「彩子のお腹まだ痛いわ。お姉ちやん、これなにお腹の蟲でせう。」

お姉さんはちよつと返答に困りましたが

「えゝさうよ、きつと。だけどもう大丈夫よ」

さう云ひました。

「いやな蟲だわ。私どうしよう」

彩子さんはにはかに悲しくなつて、しくしく泣き出しました。思つてもぞツとする、ふと、ドウナツの事を思ひ出したのでした。

「お姉ちやん」

「何アに」

「彩子もうこれから、ドウナツ食べないわ」

「どうしてなの、あれ食べたつて好いつてお醫者さんが言つてたわ」

「駄目、駄目、もうドウナツは食べまい。恐い。」と彩子さんはおもふと、一時に淋しくなつて、また新しい涙が一ぱい溜りました。

彩子さんはお蒲團に顏を埋めてその新しい涙と一緒に

「ドウナツさんさようなら」

淋しい別れを致しました。

滿日各地版

滿鐵地方委員選擧 各地開票の結果 (昨朝刊續報)

撫順

【撫順】撫順地方委員選擧の開票は五日午後五時開始、十時四十五分終了、十一時宮澤選擧長より當選者左の如く正式發表あつた、最高點は炭礦側高妻猛夫氏、市中側寺西奎之氏である各當選者得票左の如し

四五二票 高妻猛夫
三六七票 寺西奎之
三五六票 高橋新三郎
三〇六票 平石榮一郎
三〇三票 原田周藏
二四七票 河路喜平
二二六票 峰谷文平
二〇五票 中原祥光
一六七票 金森貫一
一六〇票 伊東熊次郎
一三六票 坂本吉三郎
一二八票 平井擊次郎
一二三票 土方義正
九九票 福田寅一
九五票 加納吉次
七三票 新井三喜男
六四票 池田周藏
五三票 飛島井堉他郎

以上十八氏で豫備委員は河瀬留一、増井利、宮崎重助、宮島伊藏の四氏である

投票成績良好

【撫順】撫順區地方委員選擧本年の有權者四一〇一、投票總數三七四二票、八割八分の異常なる好成績を收めてゐる棄權三六〇は旅行選去その他によるものである

遼陽

【遼陽】前夜まで市内各地で猛烈な爭奪戰が行はれて居た地方委員の選擧も五日午前八時振鈴と共に投票開始坂口久內がトップを切り正午まで約五百の投票あり午後四時終了四時三十分から開票五時五十分終了したが投票總數六百五十五票內白票二無效三票左記の通り當選した

一〇八票 古賀 大輔(滿鐵新)
九八票 渡邊 德重(市中新)
九四票 田中 幸英(滿鐵舊)
八五票 西村龜千代(市中新)
七四票 中村 信(市中舊)
六二票 小笠原 安(滿鐵新)
四〇票 萩岡彌次郎(市中新)
三二票 安藤吉三郎(市中舊)

豫備委員
二四票 佐々野忠八(市中舊)
二三票 靑山 員雄(市中舊)

鐵嶺

【鐵嶺】激戰二旬に亘る鐵嶺地方委員選擧は愈々最終の日五日となり商品館を投票場として午前八時より投票を開始されたが投票場前は各候補者の臨時選擧事務所で宛らのお祭り騷ぎ濃厚なる選擧氣分を漂はせたが投票場內部はこれに反して頗る嚴肅の氣滿ち立會人前田所長以下各係員着席、特に本社地方課からは岸水喜三郎氏臨席市川、上片平氏を始め臨監警察官し萬遺漏なきを期した、斯くて午後四時までに四百二十名の投票あり締切と共に開票準備に着手、五時より開票したが結果は略豫想通りなるも只滿鐵側から立候補した湯本辰雄氏の得票意外に少く而も年少の故を以て次點者となつたのは同情されてゐる、當選組で得意なのは形勢頗る不利當落の水平線を彷徨してゐるとさへ言はれてゐた下山候補が克く五十票を占め堅壘擁の小森候補を拔いた事である小野氏の得票は氏の手腕識見と松岡、前田參謀の努力與つて力あり初陣候補吉浦氏の五十九票は結束固き機關區であり溫厚なる氏の人格が然らしめたものであらう、開票の結果左の如し

五九票 吉浦 豐(新滿)
五九票 小野 健治(再滿)
五四票 山下 藤五(新滿)
五〇票 下山茂次郎(元市)
四六票 小森 澄敏(新滿)
四一票 橋本 勝藏(再市)
三三票 末廣 榮二(再市)
二九票 志村三之助(新市)
豫備委員二九票 湯本辰雄(滿)
一〇票 惠 秋陽(支)
七票 飛田 健市(滿)
散票小橋太郎一、河村常次郎一

無効一票、棄權五一票、有權者總數四七一票、投票者總數四二〇票

大風一過の奉天 當選者の凱歌 選擧場の慌しい光景

【奉天】時局の關係で延期されてゐた滿鐵地方委員選擧の日も來た一旬前から時局以上に緊張味を加へた奉天の逐鹿戰も四日夜で最後の爭奪戰でさばりを下し五日は選擧の會場である春日小學校前に各立候補者の選擧事務所が設けられ前夜來の雨も上り朗かな秋の陽を受けて選擧氣分を横溢せしめた例によつて有髯の紳士モーニング姿で來る人去る人每に一々鄭重な挨拶をなす始めて自動で送られたさふ選擧人もある午前九時から峰氏を第一票に續々詰めかけ正午過ぎ午後三時頃が最も多かつた、かくて午後四時を以て締切られ午後五時より開票、不幸な落選者は只の二名であるため當選者よりも落選者に多く注意され午後九時全く終局を告げ當選者は到る處凱歌を擧げた、尙當日の總投票數二千八百十七票その中無効四十一票であつた

議長は 庵谷氏か

【奉天】奉天の地方委員選擧も五日無事に終り早くも議長の顏定めが始まつてゐるが當選委員中議長候補に西田、庵谷、吉川、三谷氏等の呼聲高いが三谷吉川の兩氏は例によつて之を固辭するらしく結局庵谷、石田兩氏の對立となるべく更に興味を以て迎へられてゐるしかし德望高き庵谷氏の頭上に榮冠は輝くであらうと云はれてゐる

瓦房店

【瓦房店】瓦房店地方委員選擧運動は旬日に亘り競爭を極めしが五日午前八時より俱樂部に於て施行の結果左記の通り當選した

九〇票 金野光明
八八票 石井忠一
八〇票 廣本外次郎
七六票 本福井優
(以上滿鐵側)
六八票 板橋喜久治
五五票 早川勘太郎
五〇票 李

三九票 松尾新藏
(以上市民側)

大石橋

【大石橋】今年の地委選擧は殆んど熱なく無競爭なりしが五日選擧の結果左の諸氏當選した

一〇四 驛 楠川益三
七九 機關區 川村勝之進
七六 同 川西重作
六七 地方 小林才治
五九 地方 山下義明
四三 電燈會社 愛甲直剛
三六 地方 赤倉龜次郎
二一 支那側 李作舟
次點一一 支那側 郭
總數 四九六 無効 二

濃き上にも濃き 撫順の選擧氣分 吹き捲くる秋風も何のその 開票直前撫順の光景

【撫順】全撫の人氣を完全に獨占した地委總選擧日五日撫順選擧場たる公會堂附近は萬象悉く選擧氣分濃き上に濃く颯々の秋風なるも寒からずオーバも入らぬ絕好の選擧日和大自然までが有權者を狩りたてるやうだ高女前から公會堂に至る數町の間各候補の立看板は林立櫛比その間各候補急拵への天幕張休憩所には

何處

も十數名乃至二十數名の運動員選擧參謀等が最後の秘策を練るモーニング諸ては羽織袴の各候補自體も平素の親友も今日のみは互に敵虎視眈々一方各有權者も候補者差廻しの自動車に豪然とふんぞり返つて走らすもの去就鮮明に候補者氏名を明記せる小旗を背に突刺し腕車を飛ばすもの奥方面から電車で來た者は數十名一團となりこの結束ぶりを見ろとばかりに肩で風切つて行く者等々流石は國際的炭都有權者人種的彩分けを見るに日鮮支人はもとより

腕車 で來るかと想ふと白く

(續)メリカ人等まで來るよろしくお婆あさんが衣の看護婦が姿だつて有權者よとかとこの高い靴、今日のみは誇らしげに通る花嫁に見まがふうら若き未亡人、處で當日の牙城たる選擧場はと見ると混亂を防ぐ爲居住地域に從び入口はいろは別場内一段高い所には石橋、前島、田中、角、各氏選擧立會人の眼が光る、その前には菊花の如き徽章も誇らしげに數十名の各係員がそれぞれの部署に頑張つてゐる住所氏名を告げ用紙を貰つた有權者は前方にズラリ並んだしきりある机に前かがみ誰れに見られる心配もなく意中に秘めた候補者の氏名をかく次で大切さうにたゝみ十數箇の投票函の一つに

係員

嚴視のなかに入れるとが終ると西出口からホットしたやうな氣持で戶外にはき出されると云ふ順序有權者は定刻午前八時前から押掛けたが第一番に投票したのは大官屯驛長飯村憲五氏第二番槍が平井擊次郎氏次が金融業の益田孝氏等々午前十時頃から何れの入口も蜿蜒長蛇の列だが最も多かつたのは午後零時から午後一時半位まで午後三時迄に約三千數百の有權者の投票があつた斯て午後正四時提の如くピタッと投票は打切られ後一時間各投票函は係員に嚴重に守られ午後五時から立會人嚴視のなかにさしもに廣き公會堂階上階下各候補應援者鮨詰る如きなかで候補者寺西奎之氏の名を皮切りとして各係員の音頭朗かに次から次へと各候補の名が讀上げられそこに一喜一憂の場面が刻々と展開されて行つた

熊岳城選擧戰 突如渦を卷起す

【熊岳城】今回の地委選擧は無風狀態で終るものと見られてゐたが七日の選擧と云ふに漸く五日朝に至り旗色を鮮明にして名乘りを擧ぐるに至つたもので各所に突如として渦を巻き起し運動員は右往左往漸く選擧氣分が漲るに至つた、其の顏觸れも大部分は一度宛は出馬した連中でこゝ數回の選擧に出たがる者は出て伸びたがる者は伸ばした結果自らの力量と世評とを以て己を量つた末、出馬を嫌ふ者出馬を斷念する者、三拜九拜以て歎願しても出るに及ばぬと高く留まつて居る者等其の旗色の鮮明になるに及び一夜に萬策を樹立し今回の選擧は半理想選擧に近きものとし無難の年の出馬を見込んで腹を定めた者が多かつたらしい、卽ち諄々として倦まず民衆を率ゐて恩惠を垂れ我等の太閤として衆望を集めてゐる岡島氏を除くの外は啞嗟的に馬を原頭に進めたものらしい、五日朝に至り公然名乘を揚げたものに古川正一、鷲野鶯雄の二氏岡島氏と共に市民側より打つて出て太田鐵也氏官廳代表、久武靜氏農事試驗場より滿鐵代表として出馬、華人側は例に依つて卜瑞五それに黃旗山家の梨園を背景とする闞慶庭が日本語をよくするところより日支關係を圓滿にする爲めにと押されて出馬決定

長春に不逞鮮人 東洋精米所を襲擊し 六名の內一名捕はる

【長春】五日午後七時長春梅ケ枝町東洋精米所に六名の不逞鮮人押入つたとの急報に接し長春警察署は直に非常召集を行ひ警官は何れも防彈具をまとひ現場にかけつけ右精米所を包圍して逮捕に向ひ一名を捕縛したが、他の五名は風を喰つて逃げたものか或は屋內に潛伏するのか判明せず警官は包圍したまゝ徹宵警戒してゐる、右不逞鮮人は伊通縣孤榆樹から來て潛入したものらしい

【長春】(續) 百名は乘馬警察員とするに決した尙自警保安隊の員數も現在三百名なるを五百名に增加に決定、十一月中に募集編成を終へ冬期の防備を全うする筈だと

奉天警務員 增員 今月中に編成

【奉天】趙欣伯市長が省城內の治安維持の責を完うするため新任白警局長齊恩銘氏に委囑し現在二千二百名の警務員を四千名に增員する事既報の通りであるがこの內四

安東戶外デー

【安東】三日擧行された戶外デーは晴れ渡つた秋空に和やかな日を浴びて集まるもの無慮三千各自が聲高らかに歌ふ戶外へ、戶外へは全く健康其ものの潑剌たる色が一樣に漂つてゐた、全團體は安東神社境內に集合し大林大和校長の指揮にラヂオ體操が行はれ第一回の戶外デーは大いに其の意義をもたらして正午頃一同散會した

沿線往來

◀中西滿鐵文書課長 五日朝來奉
◀森田茂氏(代議士) 四日夜赴連
◀中山技師(稚內運輸事務所長) 五日來奉

晩秋の移住村 金普貔ところどころ(五) 改良いそがし 東老灘大鹽田

旅順支社 中村生

◇東老灘鹽田は支那人組合或は個人經營の一部を除き大部分は例の大日本鹽業會社が經營してゐるが、その鹽田たるや州境碧流河の河口から貔子窩市街のすぐ手前贊子河々口までの沿岸一帶延長六里巾一里乃至三里その總面積實に二千九百七十町歩の廣大さださいふから實に驚き入つたものである、貔子窩の方から行くと丁度事務所のすぐ上の高臺に出るが此處から正面海を見ると右も左も見渡す限り目に入るものは皆鹽田だけで整然と區劃された遠近數百の鹽田にはたゞ遠く近く揚水用の風車が海風に吹きつけられて忙しさうにぐるぐる廻轉つてゐるのが見える

◇一行は事務所で柴駐在員や小川技師から簡單に說明を聽くと、すぐ送鹽用のトロッコに乘つて製鹽狀況や目下建築中の原鹽粉碎洗滌工場の見學に出かけた、鹽田は大ては十町歩ぐらゐを一單位とし更に之が中、小數十箇の區劃にしきられ、又この小鹽田には一々水濠が通り風車や動力ポンプで揚げられた海水は第一の小區劃から第二、第三の區劃に流れ込みだんだん濃鹽水になつて結晶するといふわけだが盛夏日光の乾燥強い頃は最後の結晶鹽から六、七枚目から結晶した鹽田も今日では乾燥するく秋日結晶運々である、だが結晶鹽田の傍らにはどの鹽田も同じやうに春以來出來た原鹽が小山のやうに脊を列ふて積んであるし、所々にはまだ結晶鹽を掻き集めてゐる姿も見受けられる、柴氏の話によると今年は五、六月の大事な時期に雨が多かつた爲め頗る出來が惡かつたが、それでも收穫高は七千六百萬斤價格にして約四十萬圓の生産だといふから大したものだ

◇併し會社では漸次製鹽方法を改めて生産能率を高め又製品の向上をはかり他面生産コストの低下を期する計畫で先づ本夏關東廳が鹽業獎勵の目的で約十萬圓を投じて同地に高壓電力の送電施設を行つた爲會社では第一に現在鹽田の十町單位を二十倍にして二百町歩單位の大鹽田に改造し一方風車も二百馬力大の動力ポンプに代えて揚水能力を大にして人手を減じ更に製品の質をよくする爲めには原鹽を一度粉碎し之を飽和鹹水で洗滌することに依つてあらゆる不純物を取去るといふ所謂粉碎洗滌工場を目下大急ぎで鹽田內の中心子附近に建設中であるが、この工場は十八間四方の大工場と二千五百萬斤の貯鹽庫及び事務室等附屬建物より成り既に建物だけは六分通り竣工してゐるが明夏完成の曉は從來八十四%までしか出來なかつた鹽を殆ど純鹽に近い九十六%の上鹽とし而も年一億斤を製出するといふ鹽と九十六%鹽と云へば漁業鹽としてはもとより優秀なる工業用鹽として電氣分解アルカリ工業に使用さるゝ上鹽でこれは我國では從來スペイン其他の外國鹽の輸入に依つてゐるのであるが、同工場の製鹽の市場進出は明年度より斷然スペイン鹽を驅逐するに至るであらう、是れ人氏の卽吟二句「秋晴れや風車めぐりて鹽の山」「瀾揚ぐる風車連りて秋の晴」【寫眞は東老灘鹽田の風車】

夫の後を追ふて年若い妻の自殺
職に離れた夫の死を悼み病院でリゾールを嚥下

カフエー式自殺
惚れた女給に手應へなく梯子毒(?)を嚥み廻る

強奪した金品十萬元餘
兩匪賊頭目奉天で捕はる

長鮑曉峯氏は部下十餘人並に騎詰巡警と共に四方より護び蒐つて逮捕するに至つたが彼等の犯行數十件、強奪の金品十萬元餘の巨額に上ると

安東の官公署明治節を奉祝

【安東】滿洲事變以來平穩を續けてゐる安東は治安上目下何等の不安なく支那街駐屯中の日本憲兵隊と支那側民間とは圓滿を續け支那側有力者も最近頓に親日傾向を示すに至つたが三日の明治節當日には各官公署並に銀行等は自發的に一齊に日章旗と青天白日旗を掲揚して日本の佳き日を祝福する處あり支那街一帶に和氣溢れ日本軍部の處置妥當なるを思はせるものがあつた右に關し加藤隊長は左の如く語つた

日章旗が各官公署並に銀行に揭げられた事は全然支那側の自發的の事であり自分も日本軍の誠意を諒解して吳れるものとして嬉しく思つてゐる

瀋陽縣下の治安維持策

【奉天】瀋陽縣政府は各郷區の治安維持を全うする爲め五日各區分駐所に左の各項を通令した

一、各保安隊と聯絡して匪賊襲來防備に當るべく萬一事ある際は相互共力して之が轄捕に力むべし
二、各戸の戸口調査を爲し遊民浮浪の徒の捜索を爲すべし
三、民家に藏せる武器の捜索調査を爲すべし
四、武器の密移入と隱匿に注意すべし
五、村屯内に匪賊隱匿の有無を調査し村民にして之を聞知せる者あらば直に報告せしむべし
六、秘密集會に注意し疑あるものは嚴重探査すべし
七、賭博の秘密開帳を取締るべし
八、共産黨その他不逞の徒の宣傳潜行運動に注意すべし

旅順市民會

【旅順】對時局旅順市民會では五日午後一時から市役所に於て役員會を開催七日奉天に於て開催さる全滿日本人自主同盟會總會出席者派遣に關し協議會を行つた

排日ポスター展

【金州】曩に本社講堂に公開して多大の刺戟を與へた支那の排日ポスターは五日金州小學校に於て午後一時より公開一般の觀覽に供したが入場者五百名を越え異常な刺戟を與へた

釋放鮮人歸鮮

【安東】共産黨の嫌疑を受け本年一月吉林に於て支那官憲のため捕へられ奉天監獄に打込まれてゐた鮮農金河龍、崔成龍、崔性壽、元吉萬の四名は入獄以來日本領事館よりの交渉に對しても釋放を見なかつたが我が軍部の保障占領と共に取調べを進められ無實の罪である事判明したので數日前釋放され四名は同地警察署の手を經て原籍に送還されることとなり四日午前の列車で通安したが彼等は見るも哀れた姿で居住地に殘して來た家族の安否不明を氣遣ひつゝ出發した

支那職工救濟

【奉天】兵工廠、迫擊砲廠及び曹家林子の彈藥庫内の支那職工の大部分は事變以來四散せるが今猶殘留せるものは同工場目下閉鎖されて居る爲め失業狀態にて生活に窮してゐる、右により地方維持委員會では日本軍當局に懇請の結果一人に付洋六元の食料を支給する事となり此旨四日通達した

關根某の身元

【奉天】去月二十七日夜奉天南方黑牛圈子に於て同落民保甲隊員のため銃殺され死體は同地墓地に埋められた邦人關根某の身元に關し取調への結果福島縣磐手郡廣方村大字梅田生れ東京深川猿江町大虎組使用人であることが判明した

郊外に匪賊

撫順近郊の昨今は正に匪賊跳梁シーズンである既報撫順署管内に侵入したる兵匪は打盡に至らず人心恟々たる折柄三日午後三時黃泥坎部落程志堯(三六)が奉天よりの歸途同部落渾河北岸柳樹林中より二名組の拳銃強盗現れ拳銃を擬し程の身體檢査を行ひ所持の金品を強奪逃走、次に三日午後九時頃鎗山市部落楊崑山方に長銃拳銃所持の六名組匪賊現はれ楊の長男寶(一七)を人質として東北方大平溝方面に逃走、これより以前二日午後七時孤家子稚家溝部落鮮農鮮士消(二〇)洪承俊(二〇)が撫順新市街よりの歸途石門寨部落北方約十町の地點に至るや長銃所持の二名組辻強盗現はれ鮮于道の背中その他に數彈四十錢の盲貫銃創を負はし金品を強奪逃走

支那人の詐欺

巧妙なるかつぱらひ、山東生れ王者(二七)は三日午後八時卅五分頃驛前でうろついてゐる際河北生れ關札口に佇む呂振堂(二七)をくみし易しと見「お前は何處へ行く俺も安東に行くんだ一緒に行かう處でお前汽車賃を持つてゐるか」と馴れ／＼しく話しかけるので呂振堂は所持の朝鮮銀行紙幣五圓券を示すや王はそれは本ものか一寸見せろと調べる振りしてすばやくかつぱらひ韋駄天の如く逃走呂は泣き泣き驛前派出所に屆出たので早速追跡驛構內附近で逮捕首實見の結果、この男に間違ひないと云ふので

復縣自治顧問

【瓦房店】復縣自治會の組織と共に委囑されたる顧問連中は四日午前十時支那側に出張全委員と顔合せを行つた

長春の警備策

【長春】長春駐屯第四聯隊は急遽江橋方面に向ひ長春の警備手薄となつたので警務署に於て警備會議を開催した結果、警官を總動員し毎夜五名一組の密行警邏班を出し防彈具に身を固め治安の維持に當る、尙不充分ならば自警團をも組織して補充するさ

旅順市會開會

【旅順】旅順市では既報の如く七日午後一時から左記議案に對し市會を開會す

一、土産共同販賣所建設の件
一、同建設資金起債の件
一、觀光案內事務所建設の件
一、同資金起債の件

身體檢査をなしても五圓紙幣は出ず頑強に犯行を否認するのでやむなく試みに放還するや件の犯人は舌ベロリ驛西方の砂地に埋めた五圓札を堀出し悠々平康里遊廓方面に立去らんとする所を尾行した警官に忽ち御用滿洲の不良も物的證據の前に完全にぎやふん

長春輪組加盟店營業時間

【長春】長春輪入組合加盟店では十一月中の營業時間を左の如く實施することになつた、開店午前七時半、閉店午後九時、但集金日及締切日は締切勤務者十日、一般二十日、集金勤務者二十日より末日まで一般二十五日より末日まで

鐵嶺

童話會を開催

日本童話界の大家として鹽谷、久留島氏と並び稱せらるゝ東京放送局顧問安部秀雄氏は來る十一日來鐵し當小學校兒童のため面白い童話會を催されるさ

慰問活動寫眞

法律時報社主催の軍隊並に警察官慰問活動寫眞は來る十一日夜當地演藝館で催される筈なるが上映フキルムは日活時代劇維新暗流史十卷、現代劇摩天樓愛慾篇七卷で一般にも三十錢位で公開される筈

瓦房店

洋畫の展覽會

圖書館に陳列したる洋畫展覽會は四五の兩日共に多數の參觀者があつたが營口鞍山方面よりも出品せる向あり中々の逸品も多かつた

金州

小學校長視察

金州小學校長關山勝三氏は過般奧地方面の日支事件視察に赴いて居るが七日歸金の筈にして歸金後內地に出張の筈

派遣軍を慰問

金州在鄉軍人會金州分會では近日中奉天に於て開催さるゝ在鄉軍人會總會に出席を兼れ派遣軍慰問の爲め分會長が赴奉の筈であるが、同時に金州市民會でも加世田會長が赴奉の筈

旅順

久保田翁碑

白玉山麓第三回閉塞隊記念碑境內に建設中であつた故久保田金平翁記念碑は工事大に進捗したので愈々來る廿一日頃をトし遺族參列の上除幕式を擧行する豫定であるが大白然石を以て建てられた碑は一偉觀を呈してゐる

黃金臺

◇旅順民政署にては來る十二月上旬を期し管內會長會議を開催の豫定

◇四日午後八時四分新市街滿電待合所と中村町との中間に在る春日幹線四七柱の高壓線が降雨の爲め切斷地上に於て火花を散した爲め一時火事と間違ひ消防の出動を見た

◇在滿第十六聯隊美齡は五日芝罘に向け出港同地碇泊中の朝顏と交代、朝顏は七日旅順へ歸港の豫定

◇三調査會長寄屯五農李長有(六三)は生ひさき短いのを苦にし三日午前五時過ぎ自家の墓地に於て縊死を遂ぐ

御めでた

▲鰭江町五九　鐘ケ江米藏氏七男良美君二十二日出生
▲乃木町二の二二　永田茂次平氏長女信子嬢二十五日出生

約千二百名の匪賊 鞍山の西方に現る

わが軍大石橋奉天より出動し 將校以下四名死傷

鞍山西方の匪賊約千二百名の大集團を掃蕩のため大石橋守備隊の四百名は六日午前四時出發し湯崗子に下車して出動、午前八時敵と遭遇、これを擊退し更に大部隊の賊を全滅すべく前進中である、尚奉天にある一個聯隊は六日未明海城發敵の後方を絕つべく出動したが未だ賊と衝突せぬ模樣である【鞍山電話】

西北方に擊退

奉天駐在獨立守備隊第三大隊は六日午前六時三十分千山西側測官堡に於て老北風、仁人の兩名を頭目とする馬賊千五百名と交戰これを北西に擊退した【奉天電話】

大塚一等卒 遂に戰死

六日千山西方測官堡における戰鬪において鞍山守備隊軍曹鈴木長次、一等卒安田正清、同大塚健一、大石橋守備隊赤木軍曹の四名負傷し鞍山着午後六時半の列車にて後送鞍山醫院に入院加療中大塚一等卒は午後七時半遂に死亡した、尚賊は八十名の死者を出し潰走した【鞍山電話】

湯玉麟軍が 親日派銃殺

法庫門支那官憲內部の暗流

法庫門官憲內部には今回の事變以來一脈の暗流が漂つてゐる、縣長公安局長に反對する一派は彰武縣駐屯の湯玉麟軍に對し馬賊討伐に藉口して至急法庫門入城を請願したので去る二十九日東北騎兵第三旅四十一團六百名入城し、同時に徐團長は豫てより親日派と觀られる縣長を罷免し公安局長趙夢周、同總務會長王臨田氏、司法科長高某、縣政府第一科長馬族瑞、地方民李玉山を逮捕監禁し二日朝全部銃殺した、同軍は今尚城內西街萬德店に本部を置き附近部落に駐屯してゐるが近く楊縣長も銃殺される噂あり、また熱河方面より大部隊の正規軍を法庫門に集中せしむる計畫ありといひ避難する者續出する模樣である【奉天電話】

栗原少佐ら 遺骨

十四日大連着

十月二十八日一棵樹附近に於て戰死した步兵第二十九聯隊附少佐栗原信一郎氏以下三名の遺骨は加藤曹長以下下士十名、下士候補者十七名に護られ來る十日午前十時三十分鄭家屯發十四日午後四時五十分大連驛に到着の豫定であるが、十四、十五の兩日は關東倉庫に安置され十六日出帆のばいかる丸で出發の筈である

頭山翁等主催し 國民大會を開催

各方面の團體を糾合

【東京六日發】滿蒙問題重大化せるため頭山滿、大石正巳、內田良平、丸山鶴吉、菊池武夫氏その他發起の下に北滿居留民大會、民政黨有志、政友會有志、相愛會、滿洲青年聯盟、在鄕軍人有志、貴族院議員有志その他各團體主催にて來る十四日午後一時より芝公園に國民大會を開くに決した

中等學校生徒作品展の陳列

山東苦力の 滿洲移住激減す

近來にない新現象

大連海務局の調査に依る所謂山東苦力の十月中に於ける同港出入數は上陸者一萬二千四百七十二人乘船者一萬二千百十七人とあり、これでは往年一ケ年百萬人宛も滿洲乃至州內に殖えてゐた山東苦力の素晴らしかつた滿洲進出ぶりもどこへやらで、事實本年一月以降に之を徵してみても上陸者十九萬七千四百五十六人乘船者十三萬八千二百七十六人差引五萬九千百八十人だけが十ケ月間の增加數といつた狀態で甚だ振はず又總體に於て前年に比べてさへ來往者は十一萬五千餘人を減じてゐるが、殊に十月中の如きは今次事變の影響を受けてか前年同月に比し來往者が八千三百四十八人減ると同時に歸鄕者は之と反對に八千二百二十四人も增して來歸相殺といつた近年にない現象を示してゐる

かねての 願望達成

植民地學位令で 御影池課長語る

滿洲にも今回臺灣朝鮮と同時に學位令が適用されてこれから旅順工大や滿洲醫大から工學博士や醫學博士が生み出さることゝなり植民地の教育が大いに權威づけらるゝに至つたが右に關し關東廳御影池學務課長は語る

內地では私立大學にさへ與へられてゐるのに植民地だからといつて堂々たる設備內容を備へてゐる官立單科大學に對し何も與へぬわけはなからうといふので關東廳では先年臺灣、朝鮮に率先して政府に要望してゐたのだつた、原案に依ると長官限りで認可出來るやうになつてゐたが御承知の通り之には樞府等で異論もあり結局文部省が統制上の見地から內地同樣取扱ふこととした模樣であるが、何れにしても從來設備だけはいくら完成してゐても動もすれば內地などより輕視され勝ちであつた植民地教育に同樣の權威を授けられたのは喜ばしいことである

大連への移入牛 周水子にて檢疫

新廳令十五日から實施

關東州外より大連に搬入する生牛に對しては從來は牛の到着地の警察官署に屆出をなし特別の場合以外は十日間隔離をなしたる後解放したものだが今般十月十六日附家畜傳染病豫防規則の一部が改正せられ本月十五日より施行される事になつたが右

廳令で 廳令によれば州外より大連に搬入せんとする牛に對しては總て周水子にて一應檢疫を受け異狀なき時初めて目的地に送る事が許可される樣になつた、しかし右は檢疫日數を合して十日間到着地において隔離するは從前通りであると尚前記廳令の一部の改正を餘儀なくせられた理由は支那奧地における生牛は傳染病中最も恐るべき牛疫及肺疫が多く屢々大連市中搬入後

羅病牛 を發見周章狼狽した經驗があるので特に大連の門戶たる周水子に於て徹底的に檢疫を行ふ事になつたものである、因に一ケ年中大連市內屠場にて屠殺さるゝ牛は約一萬七千頭其他樺太方面に送らるゝもの二千頭合せて一萬九千頭だが今後は右生牛は必ず周水子で檢疫を受ければならぬことになる

重大時期に際して 全滿鄕軍聯合大會

八日奉天にて開催し 今後の覺悟と決心とを考究

帝國在鄕軍人會大連市聯合分會並に同奉天聯合分會では今回の事變に際しわが關東軍の採つた行動は滿蒙における特殊權益の擁護上當然な自衛權の發動で暴虐無道な東北軍閥を膺懲する目的は達したが併し滿蒙問題の解決は今後にあり今や內外における結束漸く成れるも國際聯盟の難關に遭遇し國民は擧國一致の大決心を要する秋に際會し、この機會を失すれば國運を危ふくする虞あるのみならず、滿蒙問題の解決方法如何はわが國權消長に關する重大問題であるとなしこの際在滿在鄕軍人會員は右國家の大事に際し今後採る可き覺悟と決心とを豫じめ考究して置く必要ありとし來る八日午前九時より奉天高等女學校に於て全滿在鄕軍人聯合大會を開催し左記事項に就いて協議する事になつた、尚大連聯合分會からは岩井分會長以下百五十名出席する筈である

一、時局に對する全滿在鄕軍人聯合大會宣言及び決議
二、在滿軍部各隊慰問使派遣の件
三、在滿各地每に在鄕軍人を以て警備隊組織並に之れに對する附帶事項

最後の賣買戰展開

凄じい賣行から豫約の申込へ 改造社の文化サービス

讀書期の滿洲の秋へ最も大きなプレゼントを齎した改造社の「全滿文化大サービス」による特選名著の廉價賣出しは、開始以來異常なセンセーションを持續して、期間も餘すところ僅かに數日間となり、讀書階級のラスト・ヘビーの凄じさは言語に絕するものがあるが

旅大を 始め沿線各地の書籍店は豫定額の數倍を賣上げ、今や掉尾の奉仕として賣切れ物に對しては特にこの賣出期間中の申込に限り豫約注文の需めに應じてゐるが、これも亦凄じいばかりの人氣に投じて踵を接して千客萬來の盛況を呈してゐる、この豫約注文の中最も多數を占めて人氣の中心となつてゐる好讀物は政治、法律の部では時季ものゝ「露國共產黨內訌錄」「社會問題二十五講」及び社會科學殿堂のエンサイクロペデイアとして定評ある「社會科學大辭典」の定價十五圓のものが七圓五十錢の大廉價で購へる、文學の部では「革命後のロシア文學」及び大衆作家の第一人者たる大佛次郞氏の代表作「赤穗浪士」上中卷「由比正雪」前中篇「ごろつき船」上下「からす組」前後篇等が壓倒的申込を受け、その他日本全文壇人を網羅した「新進名作集」「世界大衆文學全集」の

各篇は 所謂秋夜の好讀物として好評嘖々であり、全集ものでは「日本地理大系」「正岡子規全集」が斷然他の全集ものゝ群を拔いて飛ぶ賣行を示してゐる等々、全滿文化大サービス掉尾の奉仕が豫約本の申込となつて表れこゝに最後の讀書階級と書籍店との目覺ましい賣買戰が展開されてゐる

亡妻を慕ひ 厭世自殺？

信濃町の親子心中

五日午後八時五十分市內信濃町一二五佐藤米次郞(三七)は長女光子(三)を抱いたまゝ瓦斯心中を遂げてゐるのを同夜九時半ごろ活動見物より歸宅した實兄が發見し辻醫師の手當を受けると共に大連署に急報したので桑野警部補が檢視したが既に絕命してゐた、實兄は先月十九日郷里長崎縣北高來郡小野村から來連したもので當夜米次郞は長男國光(一)を連れて大日活に活動見物に行くやう實兄を送り出し寢所から瓦斯管を蒲團の中に引込み覺悟の自殺を遂げたものである原因は本年二月妻を失ひ生活難のため厭世の結果死を急いだものと觀られてゐるが、遺書には「どうせ死ぬべき年で今更命は惜しくない、財產は兄へ上げるからたつた一人後に殘つた長男のことを賴みます」と認めてあつた

モヒ中毒者の 憐れな末路

夫は窮死し妻は警察で保護さる

福岡縣八幡市生れ長井覺介(五一)同內緣の妻中川ツネ(三一)の兩名は極度のモヒ中毒者で支那山東省張店にて永年時計商を營んでゐたが失敗し本年八月末來連し、露天市場の支那宿等を轉々としてゐたが遂に追ひ出され行くところもなく約一週間前より市內日新街七番地の空家に身を潜めて居たが夫覺介は六日朝四時ごろ遂に絕命したので妻ツネは小崗子署にて保護を加へることゝした

兩ラグビー大會 滿洲豫選會

奉天、大連、旅順で擧行

全國中等學校並びに全國高等專門學校の兩ラグビー大會は明年一月二日より大阪花園球場に於て擧行されるが兩大會の滿洲豫選會は八日に奉天大連の二ケ所に於て州內及び州外の中等校の第一次豫選を行ひ十五日大連に於て州內外優勝チームの中等學校決勝戰を又同日旅順に於て高專大會の滿洲豫選會を行ふことゝなつた尚州內及び州外中等學校第一次豫選の組合せ及び出場校左の如し

州內之部　大連商業對旅順一中　午後一時

州外之部　午前九時三十分より國際運動場に於て奉天中學鞍山中學撫順中學の三校でリーグ戰を行ふ抽籤は當日午前九時より國際運動場で擧行

上海邦貨激減

【上海六日發】滿洲事變勃發後九月二十日より十月二十日迄日本より上海に輸入された貨物數量は一萬九千噸で昨年同期に比し五割以上の激減を示してゐる

便衣隊の特殊使命

袁氏等は將來逮捕查辦

張學良氏は多數の便衣密偵を東三省各地に潜入せしめてゐるが張氏がこれ等の密偵に命令した調查項目は次の如きものである

一、九月十八日以後死亡した支那官吏の數
二、日本側に拘禁されてゐる支那官吏の數
三、支那側各官署の狀況
四、兵工廠、迫擊砲廠の現狀
五、東三省民衆の對日感情
六、學良に對する東北民衆の怨恨の有無

なほ張側で將來逮捕查辦すべきブラックリストに載つてゐる人物は左の諸氏であると

袁金鎧、闞朝璽、佟兆元、張成箕、金梁等の地方維持委員會委員、趙欣伯、恭親王、祖憲廷、殷印淸、石友三、張海鵬、張學成【奉天電話】

娘を囮にして 不良少年搜查

市內能登町三〇番地某女學校三年生橋本君子(一七)假名の自宅へ五日朝君子宛のラブレターが投げ入れてあるを母親が發見、レターには「僕のワイフたる貴女へ」と冒頭し今夜六時に大廣場まで來て下さいとあつたので母親はこの旨を女學校受持教師に申し出で同時に大連署不良少年係に訴へたので、同署では家庭と學校の諒解を得、約束の午後六時ごろ指定場所の大廣場に君子を散步させ手紙の差出人の來るを待つたが遂に姿を見せなかつた、この種の誘惑はよく不良少年の用ふる手で少女を持つ家庭では充分注意が望ましいと當局者は語つてゐる

滿洲事變ポスター陳列

大連日本橋圖書館では今回の事變に當り關東軍司令部の作製せしポスターの中約二十種と、王以哲第七旅の部下に用ゐさせた標語ポスター等に、寫眞、支那諸新聞紙上の排日漫畫等を七日より陳列一般の參觀を希望するとのこと

暴風警戒解除

六日午後六時遼東半島一帶の暴風警戒を解除す

安樂椅子

海務局の燈臺建設によつて端なくも世界的に有名になつてしまつた蛇島事小龍山島燈臺もあさは灯を入れゝば好い事になつた、その間に歸つて來た桜野技手の話によると。

……

小龍山島の蛇も冬が來たので穴籠りの準備の爲寒い側の北の方には一匹も見當らず何れも南側の暖かい方に移り夫々穴の中に入りかけたが苦力連もこの隙にといふので馬力を掛けてくれたので工事が捗どつた。

……

面白いのはその蛇が南側に移ると同時に何處に居つたのか解らないが鼠の大群が押寄せて來た事で一晩に三十四四十四も叩き殺す程で、蛇に驚いた我々は今度は鼠に驚かされたわけだ。

……

實に妙ですな、大體蛇と鼠は非常に仲が惡いのに同じ島に居るなんてこれも研究もんですよ、さ。

兵匪と馬賊の數は わが駐屯軍の三倍

危險に曝されてゐる我在留民

滿洲の兵匪、馬賊分布と被害(一)

國際聯盟は十六日までにわが滿洲出動軍の撤退を要求してゐるんだ、そして今やその期日は日一日と押迫つて來てゐる、撤退していゝ時機が來れば何時でも撤兵するとは豫てわが政府が世界に宣言してゐる所だ、**十六日は近づいたが滿洲の治安はどうなつてゐるか**、一體日本軍出動の對象である滿洲におけるわが權益や居留民の生命財產の安全保障といつたやうなものはもう大丈夫になつたかどうか、否々それは支那がいくら口先ばかりで大きな太鼓判を捺してくれたつて又たとへ國際聯盟が何と決議したて、實力の伴はぬ限りは何の役にも立たぬことで、その證據には日本軍警が多大の犧牲と努力を拂つてゐてさへも事實はよくなるどころか、それとは却て逆に益々不安は深まり危險の度は增すばかりで、恐らく十六日以後とてもこゝ當分の間はこんな情勢が續くであらう。

これでは日本軍たるものいくら早く歸りたくとも、又は假へ聯盟にどんなお叱りを受けやうとも又候支那側にどんな思ひもよらぬ野望呼ばはりをされやうとも撤兵のしやうがあるまい、と同時に場合に依つては撤兵どころか或は增兵してでもその國民乃至は滿洲に對する責任を果さればなるまい、といふ理由は强ち今關外にある張學良其他の軍やソウエート軍の南下などに對する不安や危險にまで言及しなくてもよいので、もつと手近に生々しい現實がある。

滿鐵沿線のわが附屬地及び之を中心にしてゐるその接壤地を狙つて隙あらば暴虐掠奪を働かんとして虎視眈々、獰猛極まりない彼の馬賊や土匪、敗走兵、脫走囚等とに對する危險の防衛だけでも骨が折れる、殊にその最近の情勢によつてみれば吾々はこのためにだけでも斷じて**撤兵不可を主張し增兵の必要を痛感する**、卽ち本紙は滿事變以來たゞ表面に起つたわが官民の被害事實の主な事件だけを摘記して「撤兵不可能の實情」を中外に報道したが、更にその後の情勢は既に事變後五十日も過ぎた今日この頃に至つても彼等敗走兵や馬匪賊の勢力や行動は衰へるどころか、その勢力は附屬地外支那官憲の無力に誰憚るところなく增大して益々强大を加へ又その行動はいよいよ猛威暴虐を逞しふし來て全く前途憂慮に堪へぬものがある。

そこで長春以南のわが主要附屬地及び近接縣下における匪賊頭目やその部下數乃至は掠奪橫行の實際を記して、敢て十六日を控へ認識不足どころか殆ど無智の國際聯盟や世の日本軍撤兵論者の蒙を啓き、又酷寒漸く加はらんとする北滿の地に悲壯なる覺悟で奮鬪してゐるわが忠勇なる軍警の勞を犒ふわけだ。

この頃馬賊、敗兵といつても滿鐵あたりでは又一般にも一向に驚きが少いやうで、どうかすると馬賊の防衛ぐらゐにわざわざ日本の精銳が而も一萬餘人も出動せねばならぬだらうかと考へる向きさへあるといふが、それは實に大變な考へ違ひで目下滿洲にはびこつてゐる**馬賊や敗兵は今試みに一寸その主なる頭目首領に屬するものだけを數へてもザツとその總數二萬八千餘人**といふ驚くべきもので、この外系統不詳の出沒賊を加へたら總に三萬五千を下らぬといふ、而も此等の馬賊敗兵は或は新式の精巧なる兵器武器を持ち廣い滿洲を舞臺として所を分たず晝夜をとはず隙を見ては神出鬼沒して暴虐を働くんだからたまらない、一人の賊を捕へるにも、三人や五人の人手が要るのに**現在のわが守備力は逆にその三分の一**しかない。

加ふるに今や北滿の地は嚴冬來で寒氣とパンに飢えた之等三萬五千の馬匪賊敗兵はこの頃いよいよ附屬地外の部落を荒し盡して一齊に刃を打つてわが附屬地に最後の襲擊を決行せんとしてゐるのだ卽ち在住民乃至はわが出動軍警は今ぞ悲壯なる覺悟を以てその危險にさらされてゐるのだ、國際聯盟や世の撤兵論者等はこの實情を以ても尙止むに止まれぬこの日本の措置を他意ありといふか。

軍隊及警察官慰問映畫大會

力作名篇公開　日活映畫上映

場所及期日
第一期　瓦房店（五日）大石橋（六日）營口（七日）鞍山（九日）遼陽（八日）
第二期　本溪湖（十日）鐵嶺（十一日）開原（十二日）四平街（十三日）公主嶺（十四日）
第三期　吉林、長春、奉天、大連、旅順、安東（期日ハ追テ發表）

一般の公衆は場內整理の爲め大人金三十錢小人金十錢　制服の軍人警察官は無料とす（家族は含まず）

主催　法律時報社
後援　南滿洲鐵道株式會社

曙の鐘（101）

倉田潮　河野想多畫

神は死せりや（一）

マリアは壯三が屋敷をぬけ出した後でこつそりと起きあがつて、洋服を着初めた。

壯三が何處へ行つたか、何の爲めにこんな夜更けに行つたのか―それを思ふと、マリアはじつとしてはゐられなかつた。

全力をつくしてたえ子を連れ出すと春木に約束してあるので、一度は失敗したが今度こそは己の任務を果さうと彼女は思つた。

洋服をつけると、隣りの壯三の部屋へそつと忍んで行かうとした。その部屋の開いてゐる窓から外にぬけ出して、壯三の後を追ひかけようと思つたのだつた。

しかし、まだ已の部屋の前に出たばかりの時に、女中が睡さうな顔をして廊下を近づいて來て、あけみはゐないかと訊れた。ゐないと答へると、それなら壯三は何處へ行つたか知つてゐるかと問ふた。壯三の行く先をよく知つてゐるだけ、マリアはその問に直返事をすることが出來なかつた。鳥渡ためらつた後、壯三は何處へも行きはしない、今は不淨に行つてゐるが、先程から此の部屋に來てゐると答へた。

「では」と女中は安心して一葉の名刺を手渡した「かう云ふ人が逢ひに來てゐますが……」

「さうですか—」とぐずくしてゐると、壯三が家にゐると云つたうそが解つて了ふので、

「先程壯三さんが話しなしてた人でせう。通してあげたらいゝわ」

「でも、こんなに遲いから……」

「大丈夫よ」

さう答へて、マリアはたえ子を連れ出しに行けなくなつたことに氣がついた。でも、なるまゝになるより外はないと諦めをつけた。自然にさからはないのがマリアの主義なのである。

名刺を見ると「木田良子」とあつて、その裏に鉛筆の走り書きで夜中遲く訪れて失禮だが折り入つて御話せねばならないことがあるから——と記されてあつた。

マリアが部屋に戻ると間もなく女中に連れられて洋裝をした中年の女が扉を開いた。壯三もあけみもゐないで、あいのこの少女が一人待つてゐるのに、彼女は鳥渡驚いた顔をしたが、

「私、木田良子と云ふ大山商事會社に出てゐるものですが、こちらに春木さんは來てゐませんか」と椅子に腰をおろした「壯三氏もあけみさんも御留守ですの」

「さうです。特出てなりまして」とマリアは立ち去つて行く女中に聞えないやうな小聲で云つた「でも、もう直ぐ歸ると思ひますわ」

「では、待たせていたゞくとして失禮ですがあなたは……?」

「申遲れまして」とマリアは名刺を取出して、良子に渡した「御要件は」

「要件と申しますのは、私の今同せいしてゐる男、松木と申しますが、昨夜春木さんと出て行つたまゝ、まだ歸つて來ませんのよ。御存知かもしれませんが、あの洋館に姿泰公に出てゐるお冬と云ふものの伯父のもとへ春木さんを案内して行つたのですが、昨夜は勿論今日になりましても今夜まで待ちましても歸つて來ませんのよ。でも、松木は——これは秘密でございますが——勞資戰の闘士でございますから、どんなことが起りましても顔色一つ變へない強剛な闘士でございますから、私、安心して行先をたづれても見ませんでしたが、今夜も夜更けまで待つても歸つて來ないので、いゝえ、私、松木のことは別に案じませんが、一緒に行つた春木さんのことが心配になりまして、どうしても眠れないのでございますの。で、夜更けに起き出しまして直接こちらへうかゞつたのですのよ。事件がこの屋敷に關係があるらしいので、いつそ直接にこちらへうかゞつた方が早道だと思ひまして」

滿日臨時碁戰

六段 岩本薫氏　三段 大磯義男氏

—【11】—

○二〇一ル九　○二〇五ル十二　○二〇九リ十　○二一三ソ九　○二一七イ八

●二〇二ヌ十　●二〇六ヘ一　●二一〇リ九　●二一四ヌ五　●二一八ロ八

○二〇三カ八　○二〇七ト十一　○二一一チ十七　○二一五ヌ四　○二一九イ九

●二〇四ル十一　●二〇八ホ一　●二一二ワ十五　●二一六レ九　●二二〇ヌ十九

新刊紹介

▲豫言滿洲（岡本理治氏著）本書は別名「信託主義國家の原理」と稱し前滿鐵囑託たりし信託主義經濟學の篤學者たる著者が「在支約三十年支那社會殊に滿洲の變調を察して、滿洲の將來、何處に歸趨すべきやを啓示さるゝもの一二に非ず、聊か感得を記して世に問ふ」と自序せる如く、豐富なる東西古今の哲學的、經濟學的智識を傾けて近代の資本主義流通經濟の機構のうちに見出さるゝ新しき信託主義經濟制度の成立と發展を説述し、滿洲にも適用さるべき信託主義國家の大綱を略記せるものである（定價一圓、奉天信濃町二三奉天新聞社發行）

▲景氣轉換策としての金輸出再禁止（武藤山治著）打續く不況打開策として著者が得意の金輸出再禁止の立論は堂々として紙面を蔽ふてゐる武藤氏は實際的立場より詳細に我が財界救濟策として金輸出再禁止のみが唯一の景氣轉換策である點を力説し、多年財界にあつて身を以て經驗せる蘊蓄を傾け言々句々火を吐く熱論である而も其解説に至つては平易明快悉く問題の重點に觸れ一讀首肯せざるを得ない、金輸出再禁止こそ平價こそ論し解説して再禁止によつてのみわが國民の大多數を失業から救ひ小賣業、農村を蘇生せしめ、銀行業を危機から回避せしめ得ることを實證的に喝破した必讀の文字である。（東京京橋區第一相互館内千倉書房、價三十錢）

▲觀光の日本と將來（新井堯爾著）外國觀光客誘致及び旅行の趣味の喚起は政治的に將又經濟的に頗る重要なものである。本書は經濟難局の打開策として或は國際親善の增進策として如何に外國誘致事業が重大であるかを理解せしめるを主眼として本著を公にしたものである收むるところは著者が各方面に於て講演又は新聞雜誌等に發表したものを主とし國際觀光委員の議事諸外國に於ける外客誘致事業の近狀外國觀光客の我國に對する感想等を極めて平易に述べたものである（價一圓八十錢東京市芝區柴井町十五番地觀光事業研究會）

▲藥草案内（野田眞臣著）本書は著者が生命線を彷徨して得た體驗より藥草に趣味を覺え少しでもこれに依つて救はれる人があるならばと著したものである、現代醫學の進歩に連れ藥の需要は病人と正比例してゐるそしてその病人を救ふ唯一の藥はこの藥草の種々なる調合に過ぎないことを思へば本書一册を備へおくも決して無駄ではなからう、殊に著者の力説するは神經痛、リユーマチス、動脈硬化腎臟病、肋膜炎、淋疾等よくきくといふことである、醫者の來る迄或ひは平素の持藥の用意として「富山の入藥」を必要とするなら本書によつて藥草を採取準備し置く方が手輕で効果がある、内容は藥草名を述べて藥用部、採取期及び方法、主要適應症、服用上の注意といふやうな順序で最も判り易く説明し附錄として藥草案内附圖があり採取に便し尙案内書と對照のため圖中案内書の頁數を記載してゐる（價一圓二十錢、大分縣西國東郡國東中島藥植物研究所）

▲新日本民謠（十一月號）價三十錢、東京市牛込區富久町一一八帝都書院

▲大正（第二十三號）大連大正小學校雜誌、保護者會發行

▲滿鐵支那月誌（第十號）中國に於けるブルジョア・イデオロギイの史的發展（朱其華）滿洲に對する支那移民の考察（栗本豐）價三十五錢、上海北四ッ路底内山書店

▲合萠（十一月號）價二十錢、大連市柳町三番地滿洲短歌會

▲大乘（十一月號）價四十五錢、京都府紀伊郡堀内村字堀内三夜莊大乘社

▲川柳きやり（十一月號）價二十五錢、東京市四谷區寺町六番地川柳きやり吟社

けふの放送

大連 JQAK　十一月七日

▲午後六時五十分ニユース
▲獨逸語講座「テキスト」第二十六課（テキスト御入用の御方へは差上げます）大連語學校講師荻榮
▲ピアノ獨奏と連彈（イ）連彈大連高等音樂學院（マルタ）（ロ）獨奏（スピンリーキーン）（ハ）連彈（一八一二年巴里行進曲「連彈」吉野信子、三村幸子「獨奏」池羽澄子
▲講話（健康第一闘病ニコニコ、三耐生活のお話）三耐庵俊坊岡崎俊郎
▲清元（六大和い手向五字「子守」彈語り清元延盆富
▲尺八都山流本曲（走馬燈）小笠原米山、沖野靜山
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース

東京 JOAK　十一月七日午後六時半

▲講演（シユニツツレルの人と藝術）進豐吉
▲ラヂオドラマ（リイベリイ）「シユニツツレル作」森鷗外譯（リナ）大山信子（クリスチイナ）東山千榮子（ミイチイ）田村秋子（ワイリング）汐見洋（ラオドル）友田恭助、解説伊東基彥、放送指揮青山杉作
▲長唄（時雨西行）唄吉住小三蔵、同吉住小桃次、三味線稀音家和三郎、ト調子同和喜次郎
▲富本節（其俤淺間嶽「あさま」下の卷）淨瑠璃富本豐前、同富本豐喜代、同富本豐都紫、三味線富本都路、同富本豐美代

滿洲日報

米國更に日支兩國に熱心に和平勸告

北滿における衝突を重視

【ワシントン五日發】北滿方面で日支兩軍間に新に衝突を惹起したとの報に驚愕せるアメリカ國務省は事件の平和解決のため新に努力を開始するに決し、本日東京と南京に駐在せる外交代表に對し更に事態を惡化せしむる如き行動に出でざるやう兩國政府當局に對して熱心に勸告せん事を要求せる訓令を發した、右勸告内容は目下の處極秘に附されてゐるが、アメリカ側の態度に關し本日國務省當局の語る處によるとアメリカ政府は滿洲の平和維持のために努力する他國民を支持するため終始一貫外交機關を通じて行動する事に決定されてゐるのであると

米の勸告は友誼的

當事國内容を發表せず

【東京特電六日發】アメリカ政府より日本政府に對し滿洲事變に關し新たなる勸告を提示し來つたことは我外務當局も確認してゐるが、右内容はアメリカ政府においてもこれを公表せざる旨申し來て居るので、我政府としてもこれを發表し得ないといつてゐる、但し右勸告は米政府が別に積極的行動に移轉せんとするが如き意思を表示したものでなく全く友誼的のものであると

理事會十七日再開

【パリ五日發】聯盟理事會は日支紛爭事件其後の動勢を審議するため十一月十六日ジュネーヴに臨時理事會々議を開く事になつたが、ブリアン氏は佛議會に關係の用務多端にして同期日にジュネーヴに赴く事不可能であるが、さればといつて滿洲の事態は其後一向變化せず結局戰爭を惹起すべき懼れありとして、ブリアン氏は來る十一月十七日を以てパリに臨時理事會々議を召集するに決した旨本日發表された

帝國の眞意を重ねて中外に聲明

【東京六日發】四日聯盟理事會議長ブリアン氏が芳澤大使に手交せる十月二十六日附帝國政府聲明に對する回答に對し、幣原外相は重ねて帝國政府の眞意を闡明せる文書をブリアン理事會議長及び各聯盟理事國に送達する事に決定し、目下幣原外相自身の手許において文案起草中であるが、右文書には左の如き趣旨を縷述して世界の誤解を解くに努力する筈である

一、日支兩國間に紛爭常なきは全く從來支那政府が大正四年の日支條約を始め日本との間の諸條約を尊重せず、日本の條約上の權益を蹂躙し來つたに基くものである

一、聯盟理事會の一部では只管日本軍の撤兵を要求し日本は撤兵して滿洲における事變以前に戻した上で支那政府との間に懸案解決の交渉をなすべしと主張してゐるが、**事變前の事態そのものが支那側の條約不履行に依つて常に不安であつたのであるから日本は支那側が先づ條約の尊重と排日の廢止を嚴に誓約**し二度と不測の紛爭の起る憂ひなきやう**根本的に誠意を披瀝するのでなくては不安で到底撤兵を行ふ譯に行かない**

一、從つて條約の效力確認に關する問題は支那側の提案の如く今後の仲裁々判に讓つたらよいではないかとのブリアン氏等の意見は、日支間の事態の性質を解せざるものであり、且つその法律的效力については毫末の疑惑も存在し得ざる大正四年日支條約等の效力を疑へるものとして日本政府は一驚を喫せざるを得ない

一、事態解決の一切の先決要件は支那政府が先づ日支諸條約の尊重を約する事である

而して右文書は外交上一刻も早く發表さるゝを要するので、七日の閣議に幣原外相より提案贊成を得決定を見るものと期待されてゐるが、幣原外相の文案作成に暇取るため七日には間に合はず或は一兩日遲延するのではないかと憂慮されてゐる

出先官憲も我眞意を説明

【東京六日發】政府は來る十六日の理事會再開までは未だ十日の時日があるので歐米各國の出先官憲をして帝國の態度を充分説明諒解を求め理事會をして好轉せしむべく最善の努力を盡す方針であり、之に就いて七日の閣議で種々意見交換を行ふ事になつてゐる

遼寧省政府の事務代行聲明佈告

けふ維持委員會發表

地方維持委員會では六日遼寧省政府事務代行に關し左の如き聲明書を發表した

聲明

事變發生以來政權停頓せるにより本會出で、維持せり、既に聲明せる如く既往と將來は之を問はざるも目下の此の過渡期間において政權を代行し全省の政令をして舊に照し施行し、以て人心を安んぜしめざるを能はず、即ち玆に聲明す

佈告

遼寧省地方維持委員會

東三省事變發生以來政權停頓せるにより本會出でゝこれを維持せり、凡ゆる交渉事件は既往を問はず又將來を問はず但しこの過渡期間においては政權を代行し能はず、而して張氏舊政權及び國民政府と關係を斷絶し人民をして業に安んぜしめ、官吏の權限を命じ以て人心安んぜしめんとす、各官廳、各縣政府は本會の法令を遵守し切實に奉行し過まる勿れ、特に佈告す

委員 袁金鎧 外十委員(氏名省略)【奉天電話】

所管と人事は現在の儘

右所報の如く地方維持委員會は獨立政權の形を整へて來たがその所管並に人事は現在の通りである【奉天電話】

黑龍江軍逆襲し來り わが軍は苦戰に陥る

大興の第二陣地攻撃に向つた我軍の枝隊が對陣中五日午後三時敵は逆襲に轉じ同枝隊は著しく苦戰に陥つた、死傷者多數を出した模樣である【奉天電話】

頑强に抵抗

【ハルビン特電六日發】黑龍江省當局は目下あらゆる奸策を弄し我軍を不利に陷いれんと狂奔しゐるが五日當地にゐる交渉員趙仲仁氏を海拉爾に送り英米各領事に支那軍の無抵抗退却を極力宣傳せしめてゐるが事實は江橋の天嶮を頼み頑强に抵抗しつゝある

飽まで死守

馬占山の通電

【ハルビン特電六日發】馬占山は五日張學良に左の如く打電した

滿城滿野屍を以て埋むるも黑龍江省を死守すべし

馬軍の瞞し討を聯盟に報告

日本 鐵橋の修理完成次第掩護部隊は引揚

【ジュネーヴ五日發】國際聯盟派遣の芳澤代表は五日聯盟理事會に對し洮昂線嫩江鐵橋を日本側の手で修理を開始するに至つた事情を通牒を以て左の如く報告した

洮昂鐵道當局は曩に**兵匪のため破壞された嫩江鐵道橋を修理**するため保線夫を派遣したところ、馬占山麾下の黑龍江軍より機關銃及砲を以て射撃を受けたので、日本軍に對し武力掩護を要望し來つた、依つて**日本側は萬一攻撃された場合の防禦のための自衛手段を整へ**鐵道橋修理を開始した次第である、從つて右**修理完成次第掩護部隊は直にこれを撤退せしむる方針**の下に進出せしめたのである

支那 日本側の自衛手段を依然誇大に誹謗

【ジュネーヴ五日發】國際聯盟支那代表施肇基氏は本日聯盟理事會に洮昂線方面の急激せる事態を左の如く通告した

日本は表面橋梁修理のため派兵せりと稱し居るも、事實は張海鵬軍の黑龍江への進軍を掩護せんとするもので嫩江橋梁の北に日本軍が進出せることに對する日本の否定は事實を否認せるものである、更に南方においては通遼驛を攻撃してこれを占據しまた日本軍の五臺の飛行機は錦州の上空を飛行した、日本軍の飛行機、裝甲列車は洮南、錦州、通遼等廣範圍に亘り各所に出沒し最も盛んに活動しつゝありと報ぜらる

皇軍の挑戰と誣ふ

【ジュネーヴ五日發】國際聯盟支那代表施肇基氏は聯盟事務總長ドラモンド氏に嫩江附近における日支兩軍戰鬪にて支那軍は百名以上の死者を出した、なほ支那軍は既に一日前より日本軍の砲撃を受けて居り全く日支兩軍の戰鬪は日本軍の挑戰に因るものであると通告した

ロシアは絶對に干渉しない

【モスクワ五日發】ソウエートロシア外務委員長代理クイロシロフ氏は本日往訪の記者に對し約二時間に亘り滿洲事變につき會談をなし左の如く聲明した

ソヴエート政府は滿洲事件に關し如何なる形式を以てするもこれに干渉することには絶對反對である、吾人は日本に對しても支那に對しても共に飽くまで友交關係を持續せんとするものであり、ロシア赤衛軍が滿洲の國境に集中せられたとはその運動する爲めの擾である

江橋方面へ出動した我軍(六日長春驛出發)

閻氏に再起を求め北方の團結を圖る

山東に宗昌氏を据え

【北平五日發】過日南京における蔣介石、張學良兩氏の會見は東北援助の對日外交策を主としたものであるが、更に重大なる内政問題も含まれてゐる事が判明した、即ち蔣、張聯盟の確立を期し長江以北の大同團結を以て廣東派の進出を制壓するため閻錫山氏を引き出して張學良と同格の陸海空軍副司令に任命し、最も危險率多き山東方面には張宗昌氏を起用して韓復榘氏に取つて代らしむべく張宗昌氏は既に本日天津より來平し、張學良氏と三年振りの會見をなせるあり北方時局は又復動き出さんとする模樣である

陸軍首腦部會議

嫩江事件豫算等審議

【東京六日發】陸軍では五日午後六時から陸相官邸に最高首腦部會議を開き、陸軍省から南陸相、杉山次官、小磯軍務、小野寺經理兩局長、參謀本部より金谷總長、梅津總務部長出席

一、嫩江附近における衝突事件

二、明年度陸軍豫算節約問題

を中心として種々協議する處あり同三十分散會したが、右の結果

一、嫩江附近において馬占山軍が誓約に反して敵對行爲を執つて來たのであるから自衛上戰術上對岸の依布氣を占領する事は止むを得ない處置である、然しこれについては各方面への反響も起るであらうし又詳報も來て居らぬから暫く形勢の推移を注視しその上で態度を決定すべきである

二、豫算節約問題については非常手段に非常手段を重ねて約千四百萬圓に及ぶ節約をなしたのであつて最早これ以上如何なる要求があつても捻出は不可能であるから飽迄も此程度で押し通す外はない

と申合せた

外蒙軍出動

【北平六日發】最近外蒙軍は烏得以南の内外蒙古境界線に出動してゐる、その目的はなほ不明であるが三支里に一個の割合で蒙古包を建て之を歩哨所として嚴重に警戒してゐる、その兵數は三百であるが機關銃二十、迫撃砲十及び二臺の飛行機を有し相當有力なものである

かなしつゝあるなどの流説は一笑にも値ひしない、日支兩軍衝突以來ロシアは一兵または一門の砲と雖もこれを滿洲に移したことはない、蓋しロシア政府が援助を與ふる如きことは結局ロシアが直接日支の衝突に參加すること、なりその結果は支那領土の分割であり支那の獨立を抹殺するものと信ずる、最近日本政府がロシアに對し送つた覺書は東洋における赤化脅威の幻を描いて歐洲及アメリカの輿論をそれに依つて印象づけんとする希望から起つたものと信ずる

滿鐵正副總裁

東上中の内田、江口滿鐵正副總裁は豫定の如く七日東京發八日神戸出帆の香港丸に乗り十一日大連着歸任する旨滿鐵本社に入電があつた

時局後援會代表

東京で引續き活動

在滿日本人時局後援會を代表し上京中の石本鏆太郎、齋藤勉太郎、小澤太兵衛の三委員は政府要路に折衝し後援會の決議貫徹に向つて努力中であるが、六日午前十時右委員から後援會宛左記二通の電報が到着した

▲五日 南陸相、小磯軍務局長に面會し二時間に亘り現地の實狀と本會の決議とを陳情したるに贊意を表され極めて強硬に國策の遂行を期し居れり、南陸相より在滿邦人極力一致の後援を希望せられ本會の行動を感謝せられたり、政府部内の空氣は新政權確立を期待し居る事に殆んど一致し居れり、五日電の通り内田總裁は我等の要請を快諾せられ極めて強硬の意見を持し居られ、軍部はその態度に滿足を表し居れり我等も意を安んずるに足る、午後五時より九時まで華族會館に於て貴族院研究會有志と座談會にて意見交換せり、九日十時より研究會總員と會見交換を約束す

▲陸軍、外務、滿鐵その他を歴訪した、今日迄の經過に依れば國際聯盟の無理解なる將たブリアン氏が日支條約に對する認識不足に依る提議は全國民の血の湧く處となり却て日支の圓滿な結束を阻害する事になる、ブリアン氏の提議に對しては常識を疑ふものさへあり、後援會の決議に對しては政府輿論と凡て一致してゐる、日本の權益と日本の鐵道附屬地居住民二百萬の生命財産が確保さるゝ迄はこの先何年かゝりても斷じて撤兵せぬ事判然した、安心ありたし

なほ伍堂理事は十一日神戸出帆十四日入港のばいかる丸で歸連の筈

哈市支那官憲 勞農の機嫌取り

【ハルビン特電六日發】露支紛約の傳はれる折柄最近の當地の支那官憲は頻りにロシア側の機嫌をとつてゐるが、例年は嚴重取締をなする七日からのロシア革命記念祭に對し本年は寧ろこれを保護し盛大に擧行せしめることゝなり、ソウエート側の依頼により各寺院に三日間の閉鎖を命じた、また今後白系ロシア人には極端な壓迫を加へる模樣で既に白系ロシア人の巡警からは全部拳銃を取上げてしまつた、寺院の閉鎖を命ずる如き宗教壓迫は由々しき大問題として在留外人は一樣に憤慨してゐる

滿鐵豫算案

五日中央に提出

豫て政府の正式認可を申請する爲滿鐵經理部より關東廳に提出中であつた滿鐵本年度更正豫算並に七年度豫算案は監理官たる三浦内務局長の不在その他のため拓務省への送附は著るしく遲延してゐたが五日漸く關東廳の審議終了し三浦内務局長の副申書を添へて中央政府へ提出された旨滿鐵に通知があつた

うらる丸の船客

【門司特電六日發】八日大連入港豫定のうらる丸主なる船客諸氏

岩男其次郎、黑川秀行、勝見五郎、岩倉二等主計、楠瀬百年

人事

▲大森吉五郎氏(滿鐵理事)五日午後九時半發列車で奉天へ

▲伍堂卓雄氏(同)上京中の處十一日神戸發 渡滿の筈

▲山口十助氏(滿鐵々道部營業課長)六日出帆はるびん丸にて内地へ

▲相生常三郎氏(福昌公司重役)同上

▲小川順之助氏(大連市長)實鍋總務課長案内で六日午前十時赴旅、關東廳を訪問就任挨拶

▲白濱多次郎氏(南滿瓦斯専務)奉天、長春方面の事情調査のため五日夜北行

蛇角

いつまでも政權なしでは濟まされぬ、地方維持委員會が遼寧省政權を代行するは當然。

◇

政權は一軍閥、一團體の私有物でない事を實際上に明示せよ。

◇

日本軍隊を九月十八日當時の狀態に復するのは、日支外交を九月十八日當時の狀態にあと戻りさせる事。

◇

國際裁判が條約の解釋を判定する事は出來る。條約其物の有效無效を判定するは權限外。

◇

條約尊重を誓約しないものは國際團の一員たる資格が無い。左樣なものと何等の交渉も出來るものでない。

◇

國際聯盟が事件の解決を引延ばして居る間に事件は益々擴大する。聯盟が事件を擴大したり革命外交を認めたりしては聯盟無用論が出る。

◇

滿洲附近で共匪に捕へられた米國宣教師が殺された、外人保護能力を缺く證據が一つ増した。

東亞の謎 (18)

國枝史郎

挿畫 伊藤順三

危機から危機へ(二)

「執る可き手段は一通りしか無いさ」

伯はおちつ……いて然う云つた。

「小夜子さんの居場所を突きとめて──城内は廣くて複雜だから、何處に住んでゐるか解らないが、それを突きとめて其處まで行つて──つまり我々が其處まで行つて小夜子さんをこつそり盗み出すか、さうで無ければ我々の居場所を、誰からか小夜子さんへ通知して、小夜子さんの方から來て貰ふか、どつちかの方法を執ることによつて、何より先に小夜子さんを、我々の手に奪ひ返し、その後でこの城から脱出する──この一通りの手段しかないよ」

「成程」

と南部は頷いた。

「小夜子さんの方から來て貰ふことは、相手が弱い女のことで、仲々困難だと思ひますな。此方から行く方がまだ可いでせう」

「さうだ、僕もさう思ふ。では今夜にも行くことにしやう」

「行くと云つて行けますかな?」

「無理にも行くのさ、强行するのさ」

「………」

「先刻まで居た大廣間だが、本丸の中央にあるといふことだ。兎に角あそこまで行くことにしやう。それから奥殿の方へ潜入するのだ。婦人部屋、つまり大奥つてものは本丸の奥に出來てゐるものだ。でそつちへ行つて見やう。南部君、君は洋子を守つて、この部屋にゐてくれたまへ。小枝君、僕と一緒に行かう」

「よろしうございます、一緒に行きませう」

小枝次郎は然う云つたが

「この一廓の出入口に、衛兵が監視してゐる筈ですが……」

「だから非常に好都合なのさ……たしか二人で監視してゐる筈だ。……そいつを大いに利用してやらう」

伯爵には考へがあるやうであつた。

「南部君、それでは留守を頼む。さあ小枝君出かけやう」

伯と次郎とは部屋を出た。それから廊下を一方へ進んだ。中庭へ出られる出入口まで來た。

それを無視して先へ進んだ。やがて廊下が行き止まりになり左の方へ曲がつてゐた。

その曲がり角に佇んで、二人は廊下のずつと先に、外光を受けて稍明るく見える、窰藤形の出入口に、鉈をつけた銃を擔ぎ乍ら、螺旋仕掛でもあるかのやうに、右から左へ、左から右へと、小刻みに歩いてゐる衛兵の姿を、狙ふやうに窺つた。

「れ、小枝君」

と伯は云つた。

「あの衛兵をやつゝけるのだ」

「やつつける?へえ、やつつけるといふと?」

「つまりおさして了ふのさ」

「おさす?はゝあ柔道の手で?」

「さうだ、そいつでおさすのだ。……君、柔道が出來るかね?」

「出來ませんなあ、全然駄目です」

「僕はこれでも三段だよ」

「三段?そいつは、素晴らしいですなあ」

「南部と來ると四段なのだ」

「四段?そいつは、恐ろしいですなあ」

「その上唐手の名人なのだ」

「唐手の名人?それは/\」

「で、物騒で連れて來られないのだ」

「………」

「おさすなんてことは面倒くさがつて、ほんさうに殺して了ふからさ」

「あの人でしたらやるでせうよ」

「そこで君のやうな穏しい、武術の心得など一向に無い、弱虫の人間を連れて來たのさ……さあ大丈夫では出かけやう」

そこで、二人はソロ／＼と進ん

南滿の擾亂を企てた日本共產黨員を逮捕

滿洲事變を機に重大な陰謀

けふ記事掲載解禁

滿洲事變勃發以來、日鮮支露の共產黨員の潜行的活動目醒ましきものあり、殊に南滿洲擾亂を目的に各種團體一齊に蠢動し主義の强化擴大に努めつゝある事實を大連署高等係で探知し過般來特務を督勵、苦心檢索その内容を探査中十一月七日の勞農**革命記念日を期して或種の陰謀**を目論んでゐるを探知、俄然緊張し之が檢擧資料の蒐集のため全滿警察署に手配中のところ、十月二十六日撫順署において**日本共產黨滿洲地方事務局**の機關紙たる「滿洲赤旗」を入手、これに力を得て一氣呵成に連累者一味の檢擧に着手すべく、大連署と相呼應し、大活動の結果、本月四日までに**撫順署に於て十數名、大連署に於て男女三十數名**に上る日本共產黨員の大檢擧を見るに至つた、事件發生と同時に關東廳では新聞記事掲載を禁止し一味五十餘名に就き嚴重取調中のところ**日本共產黨滿洲地方事務局の實體を把握**するに至つたので六日午後二時一部記事の解禁を行つたが、今回の如く滿洲に於ける日本共產黨の組織は始めてのことであり、其の大規模な陰謀が純黨員の手によつて計畫されたことは未曾有のことで當局では頗る事件を重大視し記事解禁にも非常な制限を加へてゐるがそのアウトラインは左の如くである

三・一五事件殘黨活躍

わづか一ヶ月餘りで完全なる組織を確立

撫順署において去月廿六日彼等の機關紙「滿洲赤旗」を入手して以來、大連署では一刻も猶豫すべからざる狀態に立ち至つたので關東廳から松田高等課長、安田思想係警部等急遽來連、石井大連署長と檢擧對策を凝議し一方池内檢察官は千葉司法、寺尾高等兩主任を指揮して廿八日未明を期し市内四署員總出動の下に一齊檢擧に着手、中堅黨員を逮捕すると共に**搜査本部を大連署に置き**連日檢擧に大活動を行つた結果、全市で三十數名といふ近來稀な大檢擧を行ひ一方山縣通、彌生町、若狹町の隱家を嚴重家宅搜査し有力な證據物件を多數押收し**芽生んとした日本共產黨の活躍根元を殆ど完全に一掃**するに至つた、取調の結果判明せるところによれば、**三・一五事件の日本共產黨の殘黨**が滿洲事變によつて好機至れりと南滿洲に魔手を伸ばし**僅か一ヶ月餘りにして日本共產黨滿洲地方事務局を完全に組織し**、黨の活動を急速に遂行、急激なる**實踐運動に移り**つゝあつた、黨の幹部中其の首腦者と目さるゝものは内地に於ける三・一五事件の中心人物松島寛(二五)—假名—で本年春以來二回に亘り滿洲に潜入し植民地における思想運動の狀態をつぶさに觀察し九月上旬來連、その素地を作り、引續き今回の事變を好機に急速に活動を開始し確乎たる滿洲共產黨を組織しそのリーダーとなつて活躍してゐたを用ひた數個の秘密結社を作り如何にも勞働團體の如き形式を執りその實全く共產黨地下運動を行つてゐた、さらに黨の機關紙「滿洲赤旗」を月二回發行し黨の指導に關するパンフレットを數種發行してゐたが何れも謄寫版刷で色刷繪畫等を挿入しその技術の精巧さに係官を驚かせてゐる、なほ今回共產黨員の驚くべき陰謀は十一月七日即ち勞農革命記念日に於ける**計畫**で、之が具體案は檢擧當日までに決定してゐなかつた模樣であるが、押收中の彼等の手記其他資料によれば相當深刻なものがあり先づ勞働者より大衆への宣傳、大工場のゼネストの煽動、發電所、瓦斯會社、通信機關等の破壞、さらに進んで暴動化まで及ぼさんとする恐ろしき策謀があつた

地方事務局の組織

日本共產黨滿洲地方事務局の組織は組織部、アヂプロ部、技術部、組合對策部の四部に分れ、各部の主任は昭和三年旅大に於て檢擧され第二審で一、二年の**禁錮**に處せられ執行猶豫中の松井隆(二三)—假名—外七八名が擔當してゐる、組織部の下には連絡係があり各種の勞働團體名義

巧妙を極めた策動

拳銃で警官隊に對抗

彼等の運動方法は内地共產黨員松島寛(二五)—假名—の指導によるだけあつてその行動は全く地下潜行的であつて住居の如きも下宿旅館には殆ど宿泊することなく普通人の氣付かない奥まつた家を**借家**し數日毎に市内を轉々として移轉、當局の目を晦ましてゐた技術部に當てる家屋は殊に人目につかぬ陋屋を選び婦人黨員をして擔當せしめてゐたので檢擧に當つてその移轉先を突止めるに當局では非常な苦心を拂つた、廿八日の檢擧に際しては寢込みを襲ふたが固く施錠してゐるため容易に踏み込めず、中心人物松島寛の隱れ家では檢擧の手下ると知るや逸早く有力な證據物件を一部燒き棄た、枕元の護身用拳銃をもつて警官隊に**對抗**し大格鬪の結果松島外三名の中堅黨員を逮捕した、家宅搜査の結果有力なる秘密文書を押收したが、大半は殆ど證據となる物件を遺留せず、手紙一本も殘らず燒棄てるなど用意周到な證據湮滅が圖られてゐた、なほ秘密文書隱匿の方法としてノシ、水引をかけ進物の菓子箱の如く裝ふたものもあつた

事件は重大

滿洲では始めて

一味は所謂秀才型

司法當局者の談

今次の日本共產黨滿洲進出に關し司法當局では左の如く語る

國際共產黨が共產主義運動を行ふに世界中最も地の利を得てゐるのは中國であり、十年前から手を換へ品を變へて**支那を**目當てに一大努力を拂つて來た分けて滿洲を第二のバルカンと稱し滿洲を以て彼等の有力發展地とし滿洲問題の紛糾を契機に第二次世界大戰を惹起せしめその混亂の間に共產主義運動の擴大强化を計り一大革命を捲き起さんと常に彼等の注目を拂つてゐるところである、一方内地における共產黨は三・一五事件、四・一六事件など引續き大檢擧の憂目に遭ひ表面は殆んど手の施す術もない狀態であるが地下潜行的の運動はさらに深刻を加へ先づ第一に青年學生等を煽つて赤い**思想の**注入に努力し所謂プロ文學藝術などによつて盛んに左傾思想を注ぎ込んで一般化した共產運動の素地を作り出さんとしてゐる、我滿洲に於て中國共產黨滿洲省委の活躍目覺しきものあり、他面朝鮮人による同主義運動は相當みるべきものあると共に北滿よりはソ聯邦共產黨が盛んに魔手を伸さんとしてゐる折柄、今次の事變に好機來れりとし日本共產黨の進出を見るに至つたものであるが、日本共產黨の滿洲に活躍し始めたのは未曾有のことで事件の進展に關しては重大視してゐる、今度の檢擧によつて痛感したことは**黨員の**殆ど全部が痩身で顔色蒼白く神經質又は腺病質で一面頭腦の働きは病的に鋭いことで彼等の經歷を見ると大體は學校時代首席を占めたもので所謂秀才型である、檢擧中三分の一は現に結核患者であり少量の血痰を吐くものさへある、年齡は二十歲より二十五、六歲の思慮足らざる青年婦女ばかりである

金塊の引揚げ作業ひと先づ打ち切り

艦内の積土排除に手間どり

明年第二段の作業

本年七月より着手した旅順沖ベ號金塊引揚げ作業は着手以來連日片岡氏指揮監督の下に行はれてゐたが十一月五日夕類を以て一先づ本年度の作業を打切り更に明年七月には**再び**第二段の引揚作業を行ふ事となつた、着手以來今日迄百二十餘日、その間作業を休止せるは僅に八日間で主として艦内に於ける積土の排除に努めてゐたところその作業が案外永引いたため金塊引揚げまでには至らなかつたのである、當初の計畫としては先づベ號の舳にある常備金用の金庫艦隊用大金庫、ベ號の主計長小出し用金庫の三金庫を目的として作業を行つたのであるが積土のため遂に右金庫には行きあたらなかつたのである、また艦内に於ける主なる乘員キール大公、マカロフ提督、ベルスチヤンギン大佐正、及び主計長の**室は**何れも發見されたがこの間に於ける珍しい發見物としては大佐正の洗禮用具、ガウン、煙草セット、古代ギリシヤパイプル、その他數個の勲章である

「明年こそは」

片岡弓八氏は語る

旣報の如く約百三十日に亘り血の出る様な努力を續けてゐた旅順港外ベ號金庫引揚作業中だつた潜水王片岡弓八氏一行も全員必死の努力も遂に報いられず工程の半以上に達しながら季節の關係上本年度作業斷念のやむなきにいたつたが最後の望みであつた司令長官室の搜査作業も日毎に加はる寒冷のため中止することゝなり「來年こそは」と云ふ意氣込みを殘したまゝ六日は浮標の取外し作業を行ふこととなつた、死んで死身になつて働いた潜水作業員中には涙を流し天を仰いで泣くものもある程でその無念ぶりは察せられるが片岡氏は語る

來年こそは必ず發見します、今年揚げやうと思つてゐたのが駄目だつたので皆殘念がつてゐますよ、九日に報告會を開き一行は十日のうちら丸で一先づ旅順を離れます、來年は大體本年中にしておいた仕事の關係で案外樂に作業が進捗すると思つてゐます、潜水夫一同も涙を流して殘念がつてゐますが天候には勝てませんよ……

十九の女鳥人

新記錄を作る

【ケープタウン五日發】去る三十日午後十一時イギリス、ケントの一ラトム飛行場を出發し當地イギリス間新記錄樹立の途に上つた十九歲のペギーサラマン孃は本日午前七時四十分無事到着し五日六時間四十分の新記錄を作つた

エ國答禮使

けふ參内

兩陛下に謁見

【東京六日發】エチオピア國皇帝ヘエール・セラッシー陛下戴冠式答禮特派大使ベラテン・ゲタ・ヘルイ・ウオルド・セラッシエ外相は午前十時二十分燦爛たる大禮服にて渡邊式部官以下の接伴員隨へ儀裝馬車にて近衞騎兵一ヶ小隊儀仗の下に帝國ホテルを出門宮城に參内鳳凰間に參入し一木宮相、幣原外相、林式部長官、鈴木侍從長、奈良武官長侍立の下に十時半陸軍樣式大元帥の正裝を召されて出御の天皇陛下に拜謁、皇帝の使節として來朝の挨拶言上昨年皇帝の戴冠式に際し天皇陛下の贈られた勲章に對し同國皇帝からのソロモン大綬章及び親書を陛下に捧呈し御前を退下更に桐の間に於て皇后陛下に謁見サバ大綬章を捧呈して十一時重き使命を果して宮城を退下した、なほ天皇陛下には正午宮中豐明殿に特派大使御歡迎宴を催された

上海の支那學生

邦人に暴行

きのふ共同租界內で

【上海五日發】反日支那人の侮蔑無人の暴行日に募りつゝあるが本日午後三時頃共同租界天潼路の一邦人經店頭に一支那人が排日ビラを貼附するのでこれを剝がしたところ、忽ち三十餘名の支那學生等は同店を襲撃し窓硝子その他店頭を滅茶々々に破壞し石や煉瓦を雨霰と投げ込んだが邦人は身を以て逃れ無事なるを得た、學生の邦人に對する直接行動はいよいよ惡化しつゝあり我警察は工部局と連絡を取り嚴戒中である

大切な主婦の心得

近頃では家庭に「ごりこの」を備へることは主婦の大切な心得となつた「ごりこの」は家庭を健康に幸福にし來客を喜ばせる保健嗜好兩用の飲料である

『彈藥を出せ』と步哨を威嚇

鐵嶺で我兵士射たる

五日夜十一時半ごろ鐵嶺守備隊第四中隊二等卒加藤修が兵營附近の彈藥庫に立哨警戒中、南方の堤防を乘り越えて鐵柵をくゞりて侵入したる三名の支那人あり、誰何するも答へず、近よつて銃劍を突きつけ「彈藥を出せ」と日本語で威嚇し加藤二等卒これを射殺せんとするや賊は機先を制し一發を放ち左大腿部に貫通銃創を負はせた、加藤二等卒はこれに屈せず七發を發射し銃聲により馳つけた守備兵は吉川中隊長指揮のもとに大搜査を開始せるも暗夜のため遂に發見するに至らず察するに鐵嶺にも東北軍特派の便衣隊が潜入したらしく吉川大尉は六日朝支那側公安局長と共に搜査方針を協議するところあつた【鐵嶺電話】

匪賊と交戰

我兵士戰死

最近撫順附近に兵匪の横行甚だしきものあるが五日午後七時半古城子河分遣隊撫順守備隊一等卒池田馬作(二三)が立哨警戒中前方に數名の匪賊らしきもの通過するので誰何するや匪賊はやにはに發砲、池田一等卒も單身これに應戰したが衆寡如何ともし難く下腹部其他に貫通を受け帝國陸軍萬歲の聲も悲壯に打倒れ人事不省に陷り同八時滿鐵醫院に收容内野博士の手厚い手術を受けたが六日午前八時遂に死亡した

全國の各方面に青聯から小册子

全國の輿論喚起に努む

滿洲青年聯盟では曩に「滿蒙問題と其眞相」と題せるパンフレット六千部を印刷發行して内閣各省、貴衆兩院議員に頒し更に全國民に訴へて國論の誘導喚起に努めたが今回更に滿洲事變の眞相を詳述せるパンフレット「國家興亡の岐路に立ちて九千萬同胞に愬ふ」五千部を發行して内閣各省、貴衆兩院各大學專門學校、全國各言論機關各團體その他全國に亘つてこれを配付した、その内容は一、滿洲事變勃發前における東三

全國學生の愛國祭

けふ秋雨寒き代々木原頭に

武裝學生一萬名參集

【東京特電六日發】國難來の折柄愛國心に燃ゆる全國學生聯盟では本日第一回愛國祭を代々木原頭に擧行した、此日朝來秋雨けぶる中をもめげずに午前九時早くも東京農大學生千名を始め全國各大學專門學校五千餘校の靑年學徒一萬名武裝して所定の場所代々木練兵場に參集し明大美原氏指揮の下に九時四十分閱兵分列式を行ひ終つて隊伍堂々明治神宮に參拜、玉串を奉獻し奉告文を朗讀、之に對し柴五郞大將奉讀、更に國運隆盛の祈願を籠めたがそれより聯盟旗を先頭に宮城二重橋前廣場に向つて出發、秩序整然午後二時二重橋前廣場に到着、此處で君が代合唱し聖壽萬歲を奉唱し盛大裡に三時解散した

天津方面行の船舶を警戒

乘客を虱潰し

當地水上署においては奧地よりの手配により六日午後一時出帆天津行濟通丸にて盤石山方面を中心として兇暴の限りをつくした馬賊の頭目二名が密かに天津の地に逃亡すると云ふので俄然色めきたち高等係員は司法係と協力の上乘組船客全部につき虱つぶしの搜査を行つたが遂に發見にいたらず同船は定刻出帆を見た、尙水上署では今後如何なる形で如何なる經路を逃り逃亡するやも知れず天津方面行船舶に對しては警戒嚴重を極めてゐる

龍神丸救助

我巡洋艦到着

【香港五日發】福州沖合で遭難した龍神丸救助のため日本巡洋艦は本日現場に到着する筈、愈々之が到着すれば乘組員は全部救助される見込みである

天潮入港遲る

五日來の荒天の爲六日入港豫定であつた大汽天津航路天潮丸は塘沽出帆後航行不能の爲砂鍋出に假泊のやむなきにいたつたが大連入港は一日遲れ七日早朝の豫定である

奉天署の謝狀

今回の滿洲事變に際し本社は婦人團と協力し奧地にある軍人、警官に對し種々慰問の方法を講じたが六日本社宛奉天警察署長より謝狀があつた

阿片自殺

市内新起街四九福茂德方店員楊明善(二〇)は五日午後七時半ごろ阿片を嚥下し苦悶中を家人が發見し博愛病院に收容したが生命危篤原因は花柳病が昂じたのを悲觀してであると

七日 北西の風 晴一時曇

各地溫度(六日午前十一時 / 五日最低)

地名	六日午前十一時	五日最低
大連	八、二	六、二
旅順	一〇、四	五、五
營口	八、七	四、六
奉天	七、二	三、二
長春	五、七	八、二

滿潮(午前七時五十分 午後八時二十五分)

干潮(午前一時十五分 午後一時五十五分)

けふの小洋相場(正午) 金百圓は二〇八圓丁度

初冬の一點描 ——けふ撮す——

暗流阿修羅館 (234)

生田蝶介

挿畫 藤井耕達

黒い海(九)

「何處をどう流れて來たのだらう たしかに海の匂ひだ」

チラチラ、チラチラ、と舟をめぐつて光るものがある。青い小さい、螢ほどの光だ。

「海の匂ひと螢。どうしたのだらう」

青い光は波のまにまに揺れた。光の周圍二三寸だけ、夢のやうに照し出して、波の動きが見える。

其所に一つ、こちらに一つ。螢ならば、たまには飛ばなければならぬのに、そのどれもが、ゆらりゆらりと揺れてゐるばかり、飛ぶやうな風はない。

その光のあたりに何か藻のやうなものが流れ寄つたりする。

どうも海の藻らしい。

さうしてゐる間も、船はどん〳〵走つてゐた。

甚吉はかゞんで、手をのばして、その青い光を取らうとした。が、この船はかなり大きいのであらう

手は波にとゞかなかつた。

「海には水母といふ物がゐて夜光るときいてゐた。それかも知れぬ」

甚吉は、あらためて身の廻りを見廻したが、暗くて、さらに何も目に入らなかつた。

「どうしてかう暗いのか知ら」

たとへどの様な深夜であつても海に出たのなら、海あかりといふものがある。どの様に曇つてゐても、全く物が見えなくなつてしまふやうなことは無い。

空を仰いだ。

が、星も見えぬ。

「まだ洞窟の中でゞもあらうか」

どうも解けぬことばかりである。

また、海に近づいたことだけはわかる。

カラカラ

と、足許で音がして、甚吉はすつと足を抄はれた。

「おッ!」

前にのめりさうになつたまゝ、また、どんと落ちた。

吃驚してゐるひまもなかつた。

カラカラカラ

こんどは頭の上で音がした。

「あ、あ」

「これで二度目だ。よく〳〵落ちるやうに出來てゐると見える」

しかし甚吉にも、誰か人がゐてこのやうにすることは想像された。

どのやうな奴だらう。

何のため、どうする積りで、このやうなことをするのだらう。

螢か、水母か、夜光虫か、とにかくその青い光さへも見えなくなつた。

全くの闇の暗である。

甚吉は、それでも別にじたばたしなかつた。何か、とても面白いところへでも連れて行かれるやうな氣もちにさへなつてゐたのだ。

「おや」

耳に異樣な響きが傳つて來た。これまでに曾て聽いたとのない身體全體に響いてくる震動である。

それに、急に船の動搖が身に感じられるやうになつた。

ざ、ざ、ざ、

ざ、ざ、ざ、

と、すさまじく水を切るやうな音が近々と聽こえて來た。

「海へ出切つて、餘程來たものらしい」

かうしてゐると、随分長い時のやうに思はれるが、いづれにしても二タ刻は經つてゐるであらう。どうかするともう、夜明けに近いのかも知れぬ。

キネマと演藝

協和會館 學生デー

協和會館に於ける第三十回大連中等學校學生映畫デーは來る十一月七日、九日の兩日行はれるが、映畫は秩父宮殿下始め各宮殿下の台覽を賜はつた滿鐵弘報係撮影の「滿洲事變」五巻及びフランス映畫「歴史の幻想ヴエルダン」十巻で十一月七日午後一時より神明、女校、羽衣、同六時より二中、鐵道、商工、九日午後一時半より商業生、女職、家政、同六時より一中商業の日割であるが、會費は二十錢であると

帝國館解説部 陣容決定 潮田流曉加入

本月中旬日活映畫の上映館として開館する新築の帝國館が、開館披露興行として牧逸馬氏原作、村田實監督、小杉勇、夏川静江主演の「海のない港」前後篇を同時上映することは既報の如くであるが、解説者についても、日活映畫の品位を高めるために相當優秀なるものを入れる可く、過般來種々選定中であつたが、日活京都支店の推薦に依り名古屋松竹座の主任解説者潮田流曉及び博多壽館次席の[illegible]山隆の二名が來連することゝなりこれに元大日活に居た藤原愛が加はることに決定した、又樂士も殆ど決定したが、樂長は元常盤座の片野氏である、尚京城轉任を噂されてゐた伊藤日活大連出張所長は從來通り大連に滯まり、日活のために活躍を續ける筈である

大劇の萬歳 本日限り

大連劇場の橘家太郎と小夜子の一行は非常な好評を博し連日滿員の盛況であつたが、いよ〳〵六日限り、最後の熱演をなして大連を離れることになつた

大連舞踊研究所 兒童舞踊デー

大連舞踊研究所では來る八日(日曜日)午前一時より協和會館に於て兒童舞踊デーを開催することになつたが、童謡舞踊と體育ダンスの普及が目的で、會費は小學兒童十錢、附添者二十錢、尚各學校訓導は研究の意味に於て無料、但し所屬校名附きの名刺を提出されたしと

女監督を募集養成

外國にはドロシーライズナーを始め可成り女の映畫監督が活躍し最近封切されたものでは東和商事提供の「裏切者」はベティ・アーマンがミッシャル・ワチンスキーと共同監督してゐるが本邦にはかつて松竹蒲田あたりで女監督を養成しようとした事があるも時勢が未だ早かつたか何時の間にか消えてしまつた今度不二映畫の鈴木重吉監督は女監督を大いに養成して來るべき時代に活躍させようと計畫を發表し直に一般から募集する事になり希望者の教育程度は女學校卒業以上のもので履歴書は麴町内幸町大阪ビル二階不二映畫製作所鈴木重吉氏宛に送附されたしと

∞海のない港∞ 帝國館 第一週前後篇同時上映、寫眞右より市川春代の妖龍伎、夏川静江の娘橘子、小杉勇の小宮隆一

本社特選 新棋戰(其三)

香落 六段 △飯塚勘一郎

四段 ▲建部和歌夫

【圖は五四銀迄の局面】

▲建部氏 持駒 ナシ

△飯塚氏 持駒 ナシ

△四七金 ▲五三銀
△三六歩 ▲四四歩
△三七桂 ▲四三金
△六五歩 ▲八四飛
△二六歩 ▲四二金上
△二七銀 ▲三三桂
△三八金 ▲六四歩

【土居八段講評】△飯塚君の四七金は策戰を誤つてる、▲七八飛、五三銀、六七銀と引き而して引角の意味に指す方が宜い▲建部君は四四歩と自から角道を留めるは一見不利の如く看ゆるも、此形勢では左翼よりの攻勢は却つて敵に乘ぜらるゝ惧れあるを以て、三、四兩筋へ兵力を集注し徐に攻勢を圖らうとする意味にて時に取つての一策である△飯塚君は六五歩と突いて折角飛、角の筋を通したが以下七六銀の働きが困難で遊び駒になる惧れあり、且つ手詰りになる憂へあれば矢張り七八飛と指し而して六七銀と退却して利用する處である。

【萩原六段解説】飯塚氏の四七金は、自玉の守備を固め三七桂の活用を圖る爲めである。建部氏の四四歩は角の利きを重複する様であるが、五五の位を取つて角の利きも餘り大した事がないから敵の三七桂に對抗の三三桂の順を作る爲に四四歩と指したのである飯塚氏の六五歩は飛角の運用を廣くする意味であらうが、この五五歩と敵に位を取られてゐては角の利きが薄いから、此處は七八飛と廻り、六七銀と引いて指す方が含みがあつてよいのである。飯塚氏の二六歩は六五歩突の爲め手詰り模様を生じ、故に二七銀以下玉の守備を固めたのである

前週 謝恩優待 各等割引券 (一枚御一名限) 有効期間・・昭和六年十一月四日限 此の券切り取り御持參の方には・・ 白券席金一圓三十錢を・金六十錢に 青券席金一圓を・・・・金五十錢に 赤券席金七十錢を 四十錢 に夫々割引御優待致します 連鎖街・常盤座

避難朝鮮人救濟義捐金募集

在滿朝鮮人の全滅の危機を招來した、卽ち中國の敗走兵は朝鮮人に對し有ゆる暴虐を加へ一部の調査丈で被虐殺者二百十八名、避難民一千五百十六名、行衛不明者四千五百六名の多數に達し、避難民の全部が赤手空拳で其の慘狀は實に見るに忍びぬ處である、依つて弊社は左の各機關の後援を得茲に義捐金を募集し救濟の一助に資せんとす、希ふ内外有志合位の御賛同あらんことを。

募集方法

一、義捐金は本社及び各後援團體に於て受付をなす

二、義捐金額は任意とす

三、募集締切期日は十一月二十日とす

但し義捐金寄附者の芳名は滿日、大連、奉每、滿中各紙に廣告し受領證に代ふ、尙は義捐金の處分方法は本社並に文化協會に御一任ありたし

主催 新大陸社 大連市監部通二番地 振替口座大連一二三九番

後援 大連新聞社 中日文化協會 奉天每日新聞社 滿蒙研究會

煙草の輸入税 金單位で徴收

上海税關にて告示す

上海税關では南京政府の命により紙卷および葉卷煙草輸入に關する件につき十月廿一日左の海關告示をなした

政府の訓令に從ひ一九三一年十一月一日より紙卷煙草および葉卷煙草に關する税金は輸入税率に示されたる率にて海關金單位により全額を徴收す、從つて海關はその後税金全額が普通の海關メモにも示されるが故五分の四税に對する統税メモをも要求せず

即ち南京政府では去る二月一日以來外國煙草に對する新輸入税を課しその五分の一は輸入税として海關より金單位にて徴收し、五分の四は統税として銀單位により徴收することゝなつてゐたもので、唯大連港のみは税捐局の設置の無いことを理由として全額を金單位によつて徴收してゐたものである、このため大連港は營口に比して相當不利の地位に置かれ殆ど全部の煙草を營口に奪はれてをり問題となつてゐたが、今回の改正により各地とも全然同一の地位に置かれるに至つたのである、然し大連港としては二重課税の問題が未だ未解決のまゝであり今急に大連港に煙草の輸入を見るとは考へられない

依然圓滑を缺ぐ

吉海 瀋海の貨物連絡扱ひ

最近における吉海、瀋海兩鐵路の貨物連絡扱ひは依然圓滑を缺ぎ、しかも運賃以外に要する諸掛賃が意外に多く、去月末大豆一車を吉海線により朝陽鎭に運んだ吉林福興泰の一店員もその實情を見た結果、この狀態では瀋海との連絡は非常に不利であるため今後は吉長線により滿鐵線で送り出すことにすると言つてゐる程である、即ち朝陽鎭における連絡實況を示せば

一、吉海の貨車は瀋海ホームに來らず

一、南行北行とも兩鐵路の貨車は同一ホームに入換することなし

一、兩鐵路使用貨幣は瀋海は現大洋、吉海は吉林大洋

一、兩鐵路の貨物連絡方法および諸掛金

(イ) 吉林站ホームより大豆一車の荷繰馬車賃は袋數によらず道路の惡い時は大洋十八元位、道路の良い時は大洋十二元位

(ロ) 運送店扱料一車大洋八元

(ハ) 夜警料一車大洋一元 (ニ) 馬車より山積苦力賃大洋二元九十仙 (ホ) 檢斤苦力賃大洋四十仙、計大洋三十元三十仙

一、小口扱貨物は現在は無いが南北行共一度兩鐵路引切として運送店の院内に運ばれ再び驛出託送運送店の扱料一件大洋三十仙

一、奥地と奉天開原との電信不通のため商賈活氣なし、但し營口大連、開原の買手ボツ〳〵入り込みつゝある

瀋海線不振

金融極度に逼迫

最近瀋海線を視察した某氏の歸來談によれば、瀋海沿線は各地とも金融極度に逼迫して動きなく、加ふるに十月末の降雪雨のため道路甚だ惡く百姓の取入れもまた非常に遲れてゐる、去る一日の山城鎭出廻りは馬車五十輛位で大豆相場は一斗(四二斤)大洋一元五七である、尚出廻り最盛期は十一月半後と見られ目下は各驛とも滯貨無く貨車配給は毎日貨車積出をなし得る狀態である

鮮米第二回 收穫豫想高

前回より四十四萬石減

【京城特電六日發】朝鮮總督府發表=十一月一日現在の米の第二回收穫豫想高は一千五百九十一萬一千六百九十石で、第一回豫想に比し四十四萬石減である

日本商議總會 提出議案

既報、來る二十五日より三日間東京商工會議所に於て開催される日本商工會議所第四回定期總會に對し全國各商議よりの提出議案は左の如く二十三案である、なほこれは締切日の十五日までに提出されたる議案であつてなほ廿二日より開催の常議員會において作成される議案は別である

日本商工會議所第四回定期總會提出議案

第一　產業貿易に關するもの

一、專賣品の價格引下に關する要望の件(中國四國聯合會提出)

二、官營事業の料率引下げ並に官業品の價格低減要望の件(奧羽北海道聯合會提出)

三、非募債主義を緩和し鐵道港灣等地方產業發展の基礎となるべき施設の修築完成年度繰上げ方重ねて要望の件(同上)

四、商店法案實施に關し要望の件(德島提出)

五、販賣購買組合に對する取締方要望の件(長濱商工會議所提出)

六、市制施行地に借地法借家法及借地借家調停法を可急的實施方要望の件(吳提出)

七、瀨戶內海國立公園に關する建議の件(中國四國聯合會提出)

八、國立經濟調査所の設置を要望の件(東北聯合會提出)

九、滿鐵及滿洲商工界建直に關し我政府に要請の件(滿洲聯合會提出)

十、日貨排斥對策に關する件(北海道聯合會提出)

第二　稅制金融に關するもの

十一、國內產業保護の爲め關稅の適當なる引上を當局に建議するの件(中國四國聯合會提出)

十二、農產物輸入稅引上取止方に關し我政府に請願の件(滿洲聯合會提出)

十三、第三種所得中株式配當金の課稅に關し政府に要望の件(西部聯合會提出)

十四、營業收益稅法第九條中免稅點四百圓を八百圓に、併せて第三十二條中個人營業收益稅は年四期に於て徴收される樣改正方要望の件(吳提出)

十五、印紙稅法中改正要望の件(同上)

十六、商工會議所建築敷地に對し地租免除方促進要望の件(沼津提出)

第三　運輸交通に關するもの

十七、鐵道旅客貨金及貨物運賃の引下げに關する件(沼津提出)

十八、國有鐵道旅客及貨物運賃の引下げ並びに代金引換貨物無料保管期日延長に關する要望の件(中國四國聯合會提出)

十九、關門連絡交通路施設に關する件(西部聯合會提出)

二十、郵便、電信及電話料金引下並に電報取扱時間延長に關する要望の件(中國四國聯合會提出)

二十一、郵便官署に於て使用する通信日附印に名勝史蹟に因める圖案の外各地特產品の圖案挿入使用を追加せられんことを其筋に要望の件(北本州聯合會提出)

第四　會議所に關するもの

二十二、都市計畫委員會官制改正方要望の件(德島提出)

二十三、商工會議所法施行令中改正の件(小樽提出)

芝罘に 密輸激增

綿糸布海產物の品薄で

【芝罘六日發】當地では反日救國會の氣勢上らず全體に平穩しあるが、綿莊は一日以來日本貨幣を取受しない、日貨の輸入も杜絕したので綿糸布、海產物等品薄で暴騰してゐるが戎克で大連方面から密輸入するものが激增してゐる

大連着の新大豆 著るしく減少す

營口への搬出增加で

滿洲大豆の大連港輸出が漸次增加の傾向にあることは屢報の如くで最近の埠頭到着大豆は毎月三百車を越え、例年に比すれば旺盛とは言へないが、日を逐ふて增大してゐる、然るに出廻り大豆のうち新大豆の大連到着が著るしく減少し營口へ搬出される事實がある、右に關し當業者の觀るところを綜合すれば、新大豆の引合は主として日本向けであるが、本年三月岡崎汽船、大連汽船、近海郵船の三社が營口積內地向運賃に就いてプールを設定した當時は大連積に比し七八錢の割高であつたが、その後山下、三井、島谷等各汽船會社が相競つて營口に配船し、殊に現在では六、七千噸級の大型船が悠々と入港、貨物を吸收するので賃率は漸次瓦落の一途を辿り現在では營口橫濱間の大豆運賃擡八九錢見當となり大連積の七、八錢に比すれば僅かに一錢前後の差額となりたる結果、自然日本向貨物は營口へ搬出されてゐるようである、しかも營口は今月限りで結氷期に入るので、營口廻送は非常な盛況を極めてゐるが、現在の狀態を繼續すれば明春遼河解氷後の事態が憂慮されるのは事實であるから、運賃政策に相當の考慮が加へらるゝものと觀られてゐる

哈市油房の好況 相當永續しよう

哈市油房最近の活躍は實に素晴らしい好況をつゞけてゐるがいまこれら哈市油房の工場數、日產高を滿洲事變前後に別つて見れば最もこの事實が判然とする、即ち

	工場數	日產高
八月一日	三	五、八八〇枚
九月十五日	四	六、八三〇枚
十月十六日	二五	四八、九五二枚

の數字は如實にこの間の消息を物語るもので、この原因としては時局以後の營口油房の屛息もその一つに數へ得るが、最大の原因は勿論大連鈔票高に反しての哈大洋の暴落である、即ち左に兩相場の變動を示せば(單位金圓)

	哈大洋	鈔票
九月十八日	[illegible]	[illegible]
十月十二日	[illegible]	[illegible]
十月廿二日	[illegible]	[illegible]

となり採算の有利を最も明白に物語つてゐるのである、次ぎに最近の豆粕取引狀態を見れば時局前までは大連物に比しシフ日本諸港向百斤當二錢乃至五錢方割高であつたが時局後は反對に五錢乃至十錢方の下鞘となつたため內地の買氣が一時に殺到し、九月下旬までの十日間は約七萬二千枚の輸出成約があつたに過ぎなかつたが十月一日から廿七日までの間には約二百廿六萬枚の巨額の手合を見日本內地としては目下豆粕の需要最盛期を外れてゐるに拘らず連日白熱的輸出の手合を見てゐる、然し今後の豫想については未だ速斷を許さない狀態にあり、時局の落付きによる哈大洋の恢復、滿鐵の役能力の不足等に原因して次第に衰微するのではないかと見る向もあるが

上海銀行の 要求拒絕

日銀爲替擁護の態度を明かにす

【大阪六日發】香上銀行神戶支店が五日日銀大阪支店へ四十萬弗の圓買り弗買ひを要求したるに對し日銀はこれを拒絕し愈々爲替擁護の態度を明らかにしたので香上銀行は取敢ず手持金を送ることゝなつた

不渡手形增加

大連組合銀行手形交換所の十月中における不渡手形は枚數十三枚、金額二千二百七十八圓九十三錢にして內入金八枚金額一千五百五十圓八十四錢である、これを前月に比するに枚數九枚、金額一千七百六十圓十三錢の增加にして更に前年同月に比すれば枚數十枚金額八百九十八圓九十三錢の增加である

大連組合銀行 の手形交換高

十月中に於ける大連組合銀行の手形交換高は金勘定二萬五千三百二十三枚、金額五千三百七十七萬四千五百二十圓、銀勘定九千九百三十九枚、金額六千八十八萬五千八百六十九圓にしてこれを前月に比較すれば

種別	枚數	金額
金	一、五二五增	三、三三三、六六九減
銀	一、四二五增	三三二、一一一減

と金銀兩手形の枚數は增加してゐるが、金額は稍減少してゐる、さらに前年同月に比するに

種別	枚數	金額
金	一、四〇四減	一、六六六、三九六增
銀	三、二九增	四〇八、三六二、八六二增

となり金勘定においては枚數減少を示してゐるが金額は百六十餘萬圓を增加し事變の影響も手形融通方面には懸念された程のことなかつたことを示し、特に銀手形交換の增は銀の騰貴氣配に依り銀高の若增は銀の續騰氣配に依り銀小切手の流通取引の多かりしものと觀られる、次に交換手形の內譯を示せば左の如し

▲金勘定

種別	枚數	金額
小切手	三、[illegible]	[illegible]
送金爲替	一、[illegible]	[illegible]
仕拂命令	一、[illegible]	[illegible]
郵便爲替	九[illegible]	[illegible]
雜證書	二一	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

▲銀勘定

種別	枚數	金額
小切手	[illegible]	[illegible]
送金爲替	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

金本位の 擁護申合せ

五日會例會

【東京六日發】銀行保險と信託社の有力者を網羅する五日會例會は五日午後開催協議の結果、金本位を擁護するとともに金輸出再禁止の如きは廢すべきだとの意見一致を見たが右意見は六日の官民時局懇談會席上提唱する事とした

奉天の現大洋と 現大洋票値開き

奉天における現大洋と現大洋票との開きは漸次少くなり現在では殆ど事變前と同樣となつた、即ち十月十五日兌換開始當日の十月十五日十二元五十仙だつたものが二十一日に九元となり二十二日は七元、二十三日六元二十仙、二十四日七元、二十五日八元で廿六日以後少くなり卅一日には三元七十仙にまで恢復し今日に至つてゐる【奉天電話】

紛糾する最近の 中央卸市場眞相

(八) 市場の將來と解決案

最後に中央卸賣市場の將來について二三述べてみやう、今回の紛糾により中央卸賣市場が失つたものは內地柑橘類の推定五、六割程度に止まり、市場の集荷能力は山東物、地場物その他支那物及び臺灣物を從來通り獨占し、而も奥地貿り地場賣りともその有力仲買人は殆ど居殘つてゐる、なほ卸賣人脫退により市場機能を喪失したり弊害を釀成したりしたこともなかつたことなどは既に「脫退後の市場概況」の項において述べた通りである、そこで市場の將來はこれらの見地より中央市場としての機能を失はず今後も充分立ちゆくといふことを指摘するに止めて、ここには最も重要な脫退組の市場復歸問題を取扱つてみやう

◇

脫退組は曩に民政署の斡旋を求めて市當局に復歸した旨申込んだこともあり、最近においても內々復歸意向を洩らしてゐるが、それは脫退の動機と經過が輕率にして思慮のはづるゝところ多く、その後の立場も不利となつたゝめであらう、無論脫退組がとつたこれまでの行動は甚だ遺憾千萬な點が多かつたが、それは既に過ぎ去つたことであり今や復歸を希望してゐるのである、而して市當局においても卸賣人の經營過重につき最善の措置をなしたとはいへないから、この意味において、脫退事件につき市も一半の責任を免れないであらう、殊に中央卸賣市場の使命は統制ある組織のもとに成るべく多數の當業者を收容して充分機能を發揮せしむるにあり、大部分支那人側のみ中央市場に殘り日本人側は場外にて對立し抗爭するが如きは市場行政上は固より中央市場の發達上甚だ面白くない、そこでこの際感情と小異を捨て、脫退組は復歸方を熱望し市は釋然としてこれを容るべきではなからうか、それほどの理由なくて我意を張り共に不利益を忍ぶが如きは無意味であり市民の與せざる所であらう

◇

脫退組の復歸には何人も異存ないであらうが、復歸の方法については種々の意見が行はれ得るであらう、先づ脫退組側についていへば曩に民政署を介して市に妥協を申込んだ際、積極的に條件として

一、山東物上場の勵行

二、市役所市場經費の輕減

三、建物價却期間の延期

の三ケ條を擧げた、而して一は少數の支那人問屋が買付け取引をなさなければ集荷出來ない事情あり隨つて上場困難であるばかりでなく脫退組は一指も染め得ないものであるから脫退組からとやかくいへる筋合のものではなからう、二と三は既に說明した通り尤もな言分であるが、市の方でも折角考慮中であり、殊に窮地に陷り復歸を希望してゐるのは脫退組であるから脫退組の方から條件呼ばゝりするのはどうかと思はれる、そして今後ともかくの如き態度を固持すれば復歸を困難に導く虞があらう、そこで脫退組としては寧ろ長いものには捲かれよといふ氣持で市當局を信賴して無條件に復歸すべきではなからうか

◇

然るに市としては體面論の如きは固執しないとするも、何分自治團體であり嚴しい市會を控へてゐるばかりでなく脫退事情なども考へて無條件復歸を許せば惡例を貽し今後市場の統制上面白からず、殊に隱忍自重した殘留組に對する立場からいつても何らかの條件を附せざるを得ないであらう、然し脫退者が脫退に當つて市理事者に對し「將來市營單一制が實施されても補償金を要求する意思なし」と明言してゐるために、右を以て條件とすべしとの主張するものがあるなら嚴に贊意を表し兼ねる、なぜならその脫退には相當同情すべき點もあり、それは職人たる彼等にとつては餘りに酷に過ぎるのみならず、市が眞に中央卸賣市場の機能發揮と將來の發達を冀ふならばそれは寧ろ市場の基礎的條件を整へたといふ點からいふも中央卸賣市場の使命に反するとも言へるからである

◇

そこでホンの一例として現在の情況に基く解決案を參考までに述べてみやう、先づ脫退組は何らかの形式において遺憾の意を表する、次に市營單一制が實施される場合各卸賣人の補償金算定方法を、脫退組は田中市長案において定められた取引高によるも、殘留組は右の既定額に、脫退の期間中に行つた市場取引高をそれ〴〵加算して算定基礎としたらどんなものであらうか、それは合理的であり市の面目もたち殘留組も諒解し易いのみならず、脫退組においても補償金の僅かな減額ですむであらう、而してその話合は四角張つた事務的のものとせず寧ろ政治的に行ふべきであることはいふまでもない(終)

買人氣旺んに 高値は五十四圓

けさの鈔票相場

六日朝は各地材料とも大連銀高に歸寄せし倫敦十六分の十一高、紐育一仙二分の一高、孟買四分の一高と暴騰を告げる一方、上海標金も十兩乃至二十五兩方の暴落を傳へた、そこで當市の買人氣益々旺盛にて一圓五錢高の五十三圓八十錢に寄り高値は五十四圓丁度まで進んだ、英國の金本位制停止や滿洲事變により新値をつけた九月二十二日の相場を拔くこと五錢である、あと標金の戾りにつれ五十二圓五十五錢まで緩み五十三圓十錢に引けた目先頭重しとみる向きもあるが銀騰材料としては標金乘換期接近のほか目ぼしいものがないので依然として強人氣も行はれてゐる

物價調

菜野 地場產大根は滿物川出廻り盛りも過ぎたが追々內地物入荷季節に入るので値段はこれ以上上向しまい、馬鈴薯は山東物多いが、今月末には內地物が續々入荷すべく先行は幾分弱調にある、里芋も主に山東物で最近五分方上進したがなほ貯藏物出るにつれ多少値上りを豫想される、シユンギクは今月一杯は地場物だがその後は內地物が續々入荷を見るだらう、五日の當市卸値は左の通り(單位百匁當錢)

キウリ(一本)上二下一▲カボチヤ上一下〇・五▲ニンジン上一・五下一▲牛蒡上二・五下一五▲蓮根上四下三▲馬鈴薯上一五下一▲里芋上二・五下一・五▲山芋上三下二▲薩摩芋上一下〇・五▲白菜上一・五下一▲シユンギク(一把)上〇・五下〇・三▲ホウレン草上〇・五下〇・三▲キヤベツ上一・五下一▲ミツバ(一把)〇・七下〇・五▲玉葱上二下一・五▲青葱上一〇・五▲大根(一本)上二〇・五

黃塵

◇…最近上海方面の錢莊では長期金融の回收難に陷り、これが金融狀態は益々窮迫の度を加へつゝあるさうだ。

◇…加之金融の前途悲觀から錢莊の信用が減退し、洋銀は依然その趨勢を改めず益々その勢ひを增しつゝある。

◇…支那各地の金融逼迫は對日經濟絕交のため上海の兩銀及銀塊の需要を喚起し之れが補充のため上海の兩銀及銀塊は續々と杭州造幣廠に大量されてゐる。

◇…華商の金融逼迫が上海の減退を招來し銀に對する的需要を喚起するとなると銀は有力な銀價の强材料たる事はない。

◇…更に輸出超過の土地である滿洲においても從來輸出超過による利得は張家の軍費に殆されてゐたのであるがこの取者たる軍閥が沒落した今日、輸出超過は現銀として流入することにならう。

◇…これをみても支那においては活潑な現銀の需要が喚起されるやうな形勢である。

市況(六日)

特產

銀高乍ら一般小堅

今朝の定期は銀高にも無關心に各品共案外小堅く大豆は強含を辿り豆粕は區々保合豆油は强弱區々高梁保合で閑散裡に大引けた

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强含)單位厘

▲豆粕(區々保合)單位厘

▲豆油(强弱區々)單位錢

▲高粱(保合)單位厘

◇現物前場(銀建)

錢鈔

材料揃ひ 四圓臺乘せ

今朝海外銀塊は倫敦近物十九片十六分の九(十六分の十一高)、同先物十九片十六分の七(十六分の十一高)、紐育三十二仙四分の三(一仙二分の一高)、孟買六十一留比丁度(四分の一高)と暴騰を入れ上海標金も十兩乃至二十五兩方暴落を傳へたので當市一段と上伸し五十四圓に乘せた滙申七十三兩四〇、滙中七十兩一〇、大洋百三圓七十錢、米英クロス七十五仙四分の三(四分の一高)、米支三十五弗丁度(一弗八分の七高)、米日四十九弗三仙(九仙安)

◇定期前場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	五三六〇	五四〇〇	五三五五	五三一〇

出來高 期近 一千百七十八萬圓

◇現物前場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五三六〇	一九六八〇	二〇四八五

株式

內地株ボンヤリ 當市强保合

北濱定期の前場寄付は大株十錢安、大新二十錢安、鐘紡六十錢安、鐘

商品

麻袋變らず 綿糸も保合

●麻袋 產地情報は前十六分の三高鐵同事務替二分の一安を入れたるも當市は地場銀票の變動急なるがため華商筋出盡り勝で氣配も保合であつた

銘柄	約定期	值段	枚數
綿糸	一月限	二〇七	二〇

出來高 二萬枚

市場電報

銀塊及爲替

棉花

上海爲替情報

上海標金

爲替相場

手形交換高(六日)

奥地市況

各地特產輸送高

大連埠頭到着高

埠頭在庫貨物

10月29日　(單位噸)

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	119.761.8	28.865.0
大豆 非混保		
大豆 白眉豆	2.326.3	1.443.9
大豆 青豆	859.6	156.7
大豆 合計	122.947.7	30.465.6
小豆	2.044.2	3.515.8
吉豆	1.079.6	1.846.3
高粱	10.010.3	1.855.6
包米	968.9	358.5
大米	842.3	39.1
小米	65.3	357.1
麥子		
蕎麥	25.0	
芝麻	57.2	13.2
大麻子	81.3	138.0
小麻子	29.2	269.4
蘇子	731.9	
落花生	50.8	51.0
雜穀	298.4	656.8
豆粕	35.495.6	2.143.6
雜粕	1.524.4	248.5
獸骨	379.5	536.6
豆油	1.373.3	196.9
其他ノ油類		
麥粉	2.419.0	2.987.2
燒酎	5.9	
セメント	1.814.0	2.507.7
鉄子	338.8	417.4